「頑張る学校応援プラン」

～ふくしまの挑戦と戦略～

平成３０年度
学校教育指導の重点

# ふくしまの「家庭学習スタンダード」を活用した家庭学習の充実に向けた実践事例集

**平成31年2月**

**福島県教育庁義務教育課**

# 目　　次

○自主学習を促進させる「ガイダンス」と「問いかけ」
国見町立国見小学校・・・・・・・・・・・・・・・1

○「子どもに身に付けさせたい力の明確化」と「家庭学習の内容指導」
福島市立森合小学校・・・・・・・・・・・・・・・３

○「学び方指導」と「保護者の意識の啓蒙」
国見町立県北中学校・・・・・・・・・・・・・・・５

○「自己マネジメント力」の育成、学校・保護者の連携
伊達市立松陽中学校・・・・・・・・・・・・・・・７

○「課題量の調整」と「進路指導による家庭学習の意識付け」
二本松市立岩代中学校・・・・・・・・・・・・９

○「共通実践の継続」と「自己有用感の高揚」
田村市立船引小学校・・・・・・・・・・・・・・・11

○「学校目標達成ビジョン〈家庭版〉の作成」と「家庭との目標の共有」
浅川町立里白石小学校・・・・・・・・・・・・・13

○「３点固定」と「メディアコントロール」
須賀川市立仁井田中学校・・・・・・・・・・・・15

○「１２の約束」、学びの質の転換
郡山市立逢瀬中学校・・・・・・・・・・・・・・・17

○全国学力・学習状況調査等やＱＵの分析結果を生かした学校経営と保護者と協力した
家庭学習の習慣化に向けた取組
白河市立白河第三小学校・・・・・・・・・・・・19

○「学校生活のしおり」を活用した学習習慣の確立、家庭学習の質的改善、全国学力・
学習状況調査問題等の活用
白河市立白河中央中学校・・・・・・・・・・・・21

○「１２年間をつなぐ家庭学習」と「自主学習の内容の工夫」
会津坂下町立坂下南小学校・・・・・・・・・・・23

○「自己マネジメント力を育む取組」と「授業と家庭学習をつなぐ手立て」
猪苗代町立吾妻中学校・・・・・・・・・・・・・25

○「家庭学習計画タイム」と「家庭学習カード」を活用した自己マネジメント力の育成
只見町立只見小学校・・・・・・・・・・・・・・27

○授業と家庭学習をつなぐ「家庭学習９０プラン」と生徒会の取組
南会津町立南会津中学校・・・・・・・・・・・・29

○「家庭学習強化週間」と「家庭学習と授業の接続」
南相馬市立原町第二小学校・・・・・・・・・・・31

○「学習の手引き」と「ＩＣＴ」を活用した家庭学習の質の向上
新地町立尚英中学校・・・・・・・・・・・・・・33

○「家庭学習の手引き」の見直しと「学習・生活習慣セルフチェック」の活用
いわき市立高坂小学校・・・・・・・・・・・・・35

○キャリア教育を基盤とした学校経営に基づく家庭学習の取組
いわき市立中央台北中学校・・・・・・・・・・・37

# 家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

| 取組の特徴 | **自主学習を促進させる「ガイダンス」と「問いかけ」** |
|---|---|

国見町立国見小学校

【取組の概要】

家庭学習充実のために、各種手引きの配付・活用を図っている。特に、「自主学習の手引き」にある〈特別メニュー〉には、問題づくりや新聞づくりなど、学習内容を深めることのできる内容が例示されている。また、「教師の問いかけ」により、自主学習を促進させている。

**1　取組①　内容・方法を指導しています**

**（１）ガイダンス機能の充実**

**①　「自主学習の手引き」の工夫**

「自主学習の手引き」には、〈定番メニュー〉と〈特別メニュー〉の２つが例示されている。〈定番メニュー〉には、漢字や計算の練習、予習や復習といった内容が示され、〈特別メニュー〉には、「算数の問題づくり」「算数新聞づくり」「福島県の市町村の特産物や観光スポット調べ」などが示されている。

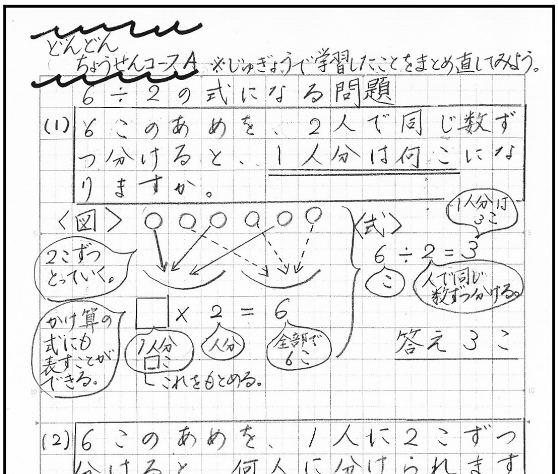
例えば、「算数の問題づくり」では、「身の回りの出来事を算数の問題にしてみよう。（買い物、時計、面積など）」と言葉が添えてあり、児童が問題づくりを行う際のヒントとなっている。学年が上がるに従って、〈特別メニュー〉に取り組む児童が増えている。

**②　ノートのまとめ方の例示**

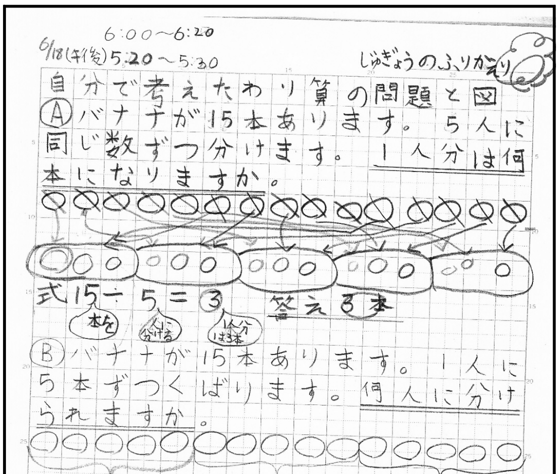
年度当初にノートのまとめ方を教師側から例示している。児童はそれを自主学習ノートの表紙裏に添付し、ノートづくりの際に参考にしている。

次第に児童自らが工夫をする姿が見られるようになり、個性的なノートが増えている。

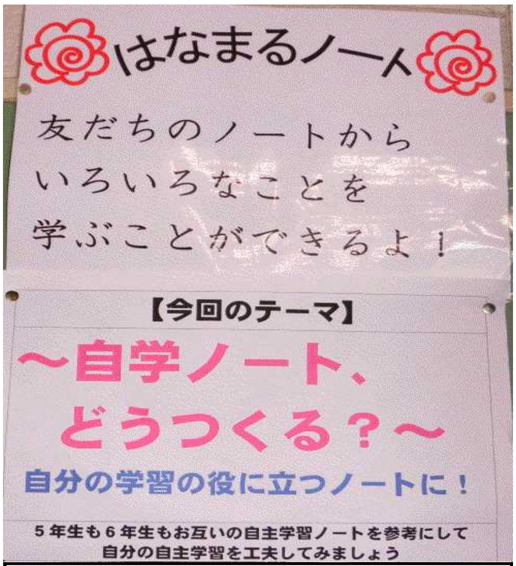
**《教師の例示》**

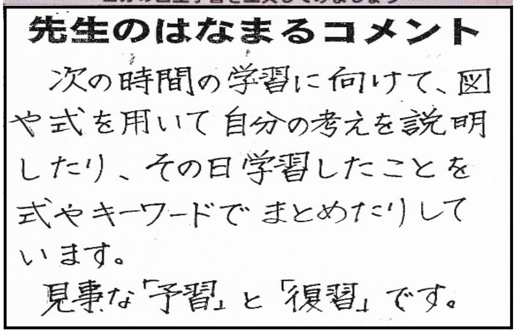


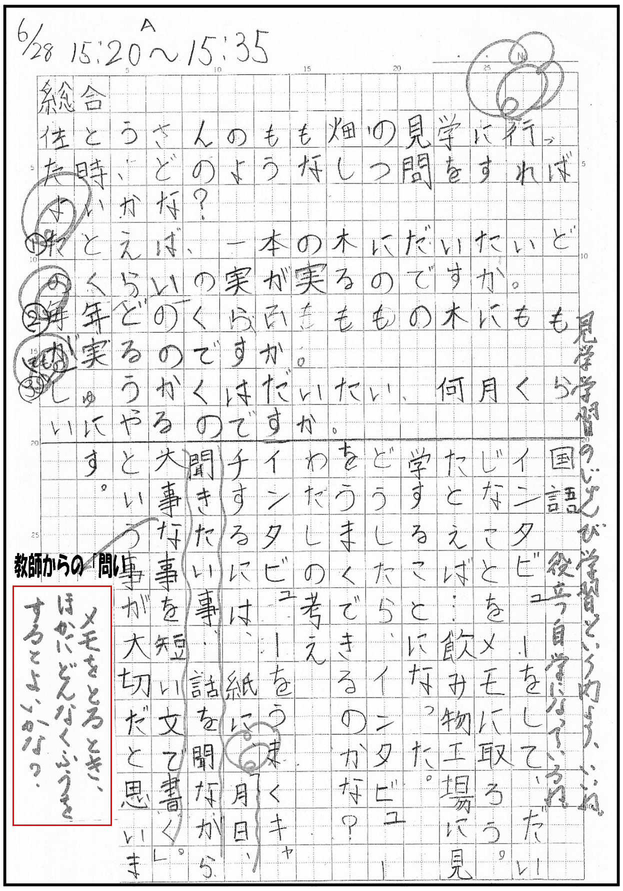

**《例示を参考にしてつくった児童のノート》**



### （２）「はなまる自学ノート」の掲示と教師の「問いかけ」



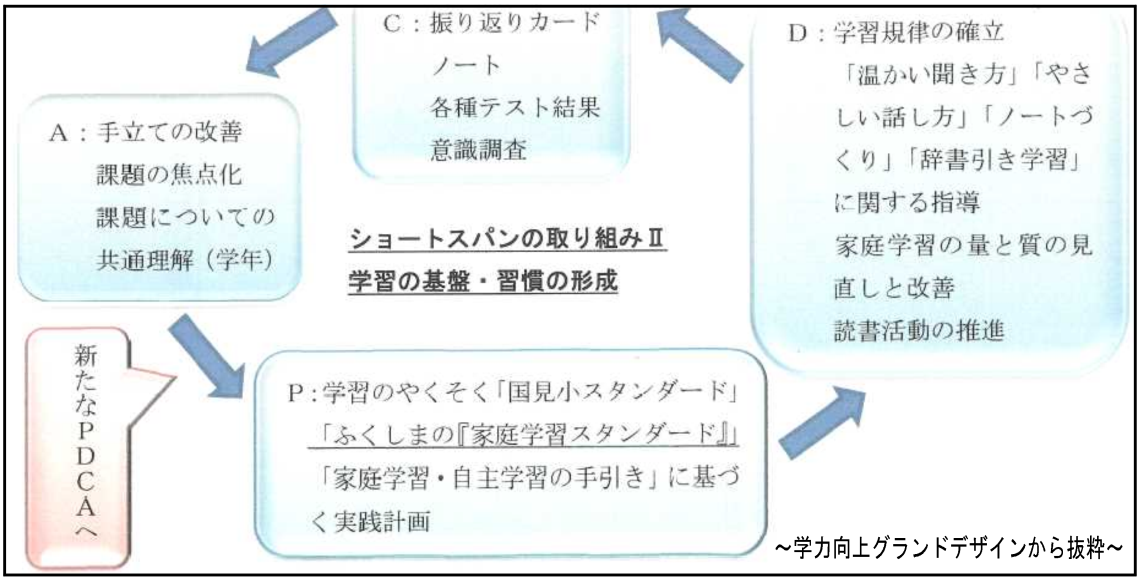




・　児童同士がノートを見合う機会を設定し、教師がノートの工夫点や参考にしてほしい点などをカードに記入し掲示している。また、よいノート例は、ファイリングし、随時見合うことができるようにしている。さらに、自主学習ノートに、教師から「問い」を書き込み、児童がさらに主体的に課題を追究しようとする態度の醸成を目指している。

## ２　取組②　共通理解を図っています

・　学力向上グランドデザインに「家庭学習スタンダード」の活用について明記し、保護者の理解を得ている。また、学習の基盤習慣の形成に向けてショートスパンでＰＤＣＡサイクルを回している。



～学力向上グランドデザインから抜粋～

# 家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

| 取組の特徴 | **「子どもに身に付けさせたい力の明確化」と「家庭学習の内容指導」** |
|---|---|

福島市立森合小学校

【取組の概要】

家庭学習を通して、「自分を知り、課題と向き合う力」を子どもたちに身に付けさせるべく、全職員で共通理解のもと指導に当たっている。学習や生活の振り返りや各種検査・テスト等の自己分析をはじめ、子どもたち自身に課題に気付かせる機会を設定するなどの取組を行っている。

## 1　取組①　共通理解を図って指導しています

### （１）子どもに身に付けさせたい力の明確化

今年度は、子どもに身に付けさせたい力を「自分を知り、課題と向き合う力」と設定し、全職員で共通理解を図った。普段の学習や生活を振り返り、自分の課題と向き合う子どもの育成を目指している。

子どもたちが、「自分を知る」ことができるようにするために、高学年においては、各種検査、テスト等の結果を自己分析する機会を設けている。６年生は、前年度実施の県学力調査の結果を自己分析し、各教科で「よくできた内容」「課題のある内容」「今後必要な勉強」の３点について自己を見つめさせ、家庭学習の実践につなげる取組を行っている。

○　期待する子どものことばの例

（生活）ついつい寝るのが遅くなる。

生活の仕方を見直さないと・・・

（時間）学習時間が少し足りない。

（方法）１ページ自主学習しているけど，なかなか成果が出ていない。

（内容）文章問題でつまずいている。

○　教師の働きかけの例

例）　問題点，課題に気付かせる機会の設定

学習や生活の振り返りができるチェックシート（ノートや，家庭学習カードなど）

高学年・・・各種検査や単元末テストの結果を自己分析してまとめさせる。

新６年生は，県学力調査の結果を自己分析済み。参考にしたい。

中学年・・・学習のポイントのまとめ直し。単元末テストを切り貼りして再挑戦させる。

家庭学習カードには，学習開始時間や時間等を書かせる。

低学年・・・ドリルの間違えた問題番号をメモし，２回目に挑戦させる。

あきらめずにやるための励ましや，苦手を克服した達成感を味わわせる働きかけ。

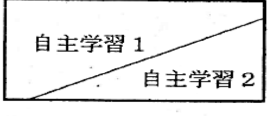
### （２）自主学習の捉え方や順序

以下の内容を、全職員の共通理解のもと、同一歩調で指導している。

宿題　＋　自主学習１（＋２）＝（学年×１０分＋１０分）の時間

宿題 ＞ 自主学習１　主に復習　４年生くらいから予習もあり。 ＞ 自主学習２　興味や関心のあるテーマでの学習

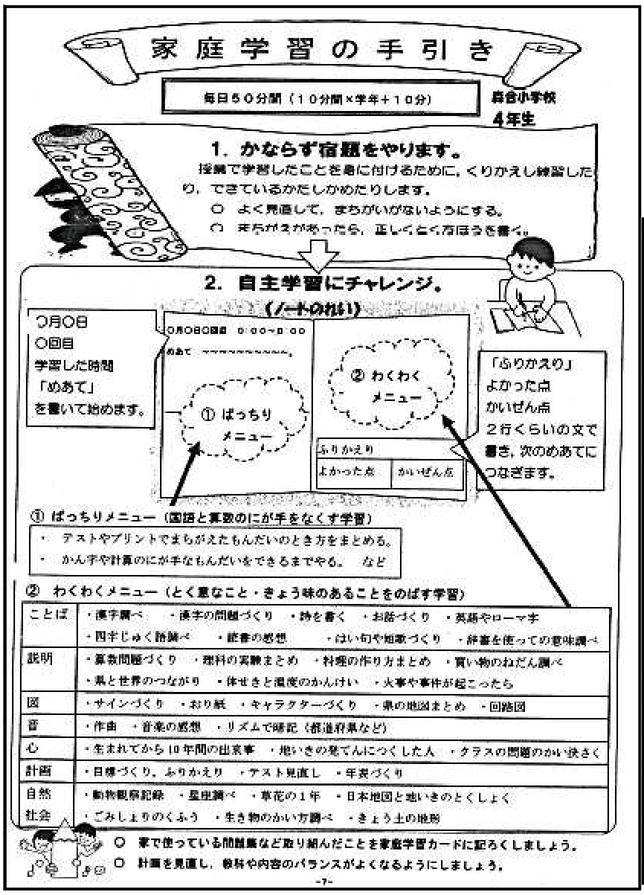
- 低学年の間は宿題を中心とし自主学習に徐々に取り組めるようにする。
- 自主学習１をやらない人は自主学習２ができない。
- 家庭学習には，塾やスポーツ少年団，習い事等を含めない。
- 「調べ，考え，書く」活用型の内容の推進。
- 条件付作文や，自己の課題に対応する内容を学年の実態に合わせ，取り組ませる。



## ２　取組②　内容・方法を指導しています

### （１）「家庭学習の手引き」の活用

２年生から６年生まで、学年ごとに「家庭学習の手引き」を作成、配付している。（１年生は宿題の提示）自主学習については、３学年から①ばっちりメニュー（国語と算数の苦手をなくす学習）、②わくわくメニュー（得意なこと・興味のあることをのばす学習）の２段階で提示し、学習意欲の喚起を促している。



家庭学習の手引き

毎日５０分間（１０分間×学年＋１０分）　[illegible]小学校　４年生

1. かならず宿題をやります。

授業で学習したことを身に付けるために、くりかえし練習したり、できているかたしかめたりします。

○　よく見直して、まちがいがないようにする。

○　まちがえがあったら、正しくとく方ほうを書く。

2. 自主学習にチャレンジ。

（ノートのれい）

〇月〇日
〇回目
学習した時間
「めあて」
を書いて始めます。

〇月〇日〇回目　0：00～0：00
めあて

① ばっちり メニュー

② わくわく メニュー

ふりかえり
よかった点　かいぜん点

「ふりかえり」
よかった点
かいぜん点
２行くらいの文で書き、次のめあてにつなぎます。

① ばっちりメニュー（国語と算数のにが手をなくす学習）

・　テストやプリントでまちがえたもんだいのとき方をまとめる。
・　かん字や計算のにが手なもんだいをできるまでやる。　など

② わくわくメニュー（とく意なこと・きょう味のあることをのばす学習）

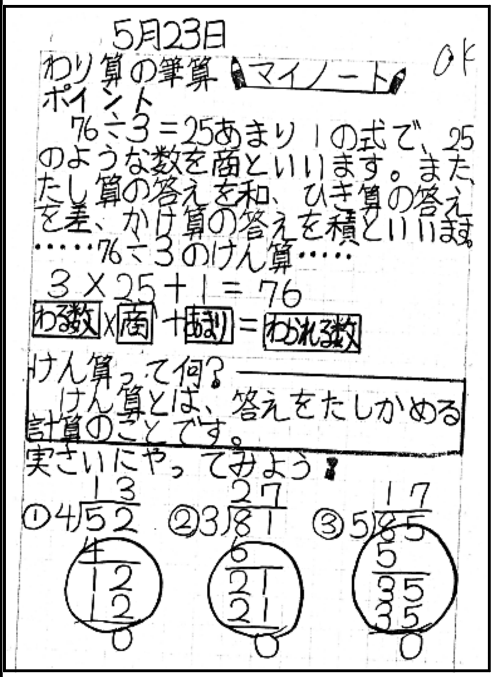
| | |
|---|---|
| ことば | ・漢字調べ　・漢字の問題づくり　・詩を書く　・お話づくり　・英語やローマ字　・四字じゅく語調べ　・読書の感想　・はい句や短歌づくり　・辞書を使っての意味調べ |
| 説明 | ・算数問題づくり　・理科の実験まとめ　・料理の作り方まとめ　・買い物のねだん調べ　・県と世界のつながり　・体せきと温度のかんけい　・火事や事件が起こったら |
| 図 | ・サインづくり　・おり紙　・キャラクターづくり　・県の地図まとめ　・回路図 |
| 音 | ・作曲　・音楽の感想　・リズムで暗記（都道府県など） |
| 心 | ・生まれてから10年間の出来事　・地いきの発てんにつくした人　・クラスの問題のかい決さく |
| 計画 | ・目標づくり，ふりかえり　・テスト見直し　・年表づくり |
| 自然 社会 | ・動物観察記録　・星座調べ　・草花の１年　・日本地図と地いきのとくしょく　・ごみしょりのくふう　・生き物のかい方調べ　・きょう土の地形 |

○　家で使っている問題集など取り組んだことを家庭学習カードに記ろくしましょう。

○　計画を見直し，教科や内容のバランスがよくなるようにしましょう。

-7-

また、②わくわくメニューにおいては、調べ学習や教科の問題作り、読書や、新聞記事を読んで感想を書くなど、「調べ、考え、書く」活用型の学習内容の提案・推進も図っている。

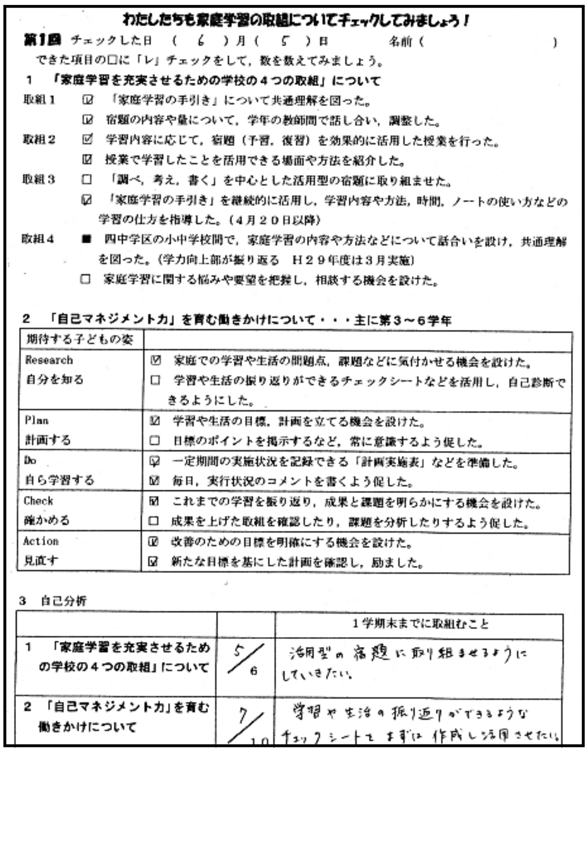



### （２）教師による振り返り・自己評価

子どもたちに自己の取組を振り返らせたり、自己分析をさせたりするだけではなく、指導する教師側の振り返り・自己評価も行っている。

評価については、「家庭学習を充実させるための学校の４つの取組について」、「自己マネジメント力を育む働きかけについて」の大きく２つのカテゴリーで行い、できた項目にチェックをする形で簡易的に実施している。

自己分析を行い、学期末までに意識して取り組むことを、それぞれの教師が自己目標として設定し、指導につなげていくなど、家庭学習の充実を目指すショートスパンのＰＤＣＡサイクルに取り組んでいる。



**わたしたちも家庭学習の取組についてチェックしてみましょう！**

**第1回**　チェックした日　（　6　）月（　5　）日　　名前（　　　　　）

できた項目の□に「レ」チェックをして，数を数えてみましょう。

**１　「家庭学習を充実させるための学校の４つの取組」について**

取組１　☑「家庭学習の手引き」について共通理解を図った。
　☑ 宿題の内容や量について，学年の教師間で話し合い，調整した。

取組２　☑ 学習内容に応じて，宿題（予習，復習）を効果的に活用した授業を行った。
　☑ 授業で学習したことを活用できる場面や方法を紹介した。

取組３　□「調べ，考え，書く」を中心とした活用型の宿題に取り組ませた。
　☑「家庭学習の手引き」を継続的に活用し，学習内容や方法，時間，ノートの使い方などの学習の仕方を指導した。（４月２０日以降）

取組４　■ 四中学区の小中学校間で，家庭学習の内容や方法などについて話合いを設け，共通理解を図った。（学力向上部が振り返る　Ｈ２９年度は３月実施）
　□ 家庭学習に関する悩みや要望を把握し，相談する機会を設けた。

**２　「自己マネジメント力」を育む働きかけについて・・・主に第３～６学年**

| 期待する子どもの姿 | |
|---|---|
| Research<br>自分を知る | ☑ 家庭での学習や生活の問題点，課題などに気付かせる機会を設けた。<br>□ 学習や生活の振り返りができるチェックシートなどを活用し，自己診断できるようにした。 |
| Plan<br>計画する | ☑ 学習や生活の目標，計画を立てる機会を設けた。<br>□ 目標のポイントを掲示するなど，常に意識するよう促した。 |
| Do<br>自ら学習する | ☑ 一定期間の実施状況を記録できる「計画実施表」などを準備した。<br>☑ 毎日，実行状況のコメントを書くよう促した。 |
| Check<br>確かめる | ☑ これまでの学習を振り返り，成果と課題を明らかにする機会を設けた。<br>□ 成果を上げた取組を確認したり，課題を分析したりするよう促した。 |
| Action<br>見直す | ☑ 改善のための目標を明確にする機会を設けた。<br>☑ 新たな目標を基にした計画を確認し，励ました。 |

３　自己分析

| | | １学期末までに取組むこと |
|---|---|---|
| **１　「家庭学習を充実させるための学校の４つの取組」について** | 5/6 | 活用型の宿題に取り組ませるようにしていきたい。 |
| **２　「自己マネジメント力」を育む働きかけについて** | 7/10 | 学習や生活の振り返りができるようなチェックシートをまずは作成し活用させたい。 |

# 家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

| 取組の特徴 | **「学び方指導」と「保護者の意識の啓蒙」** |
|---|---|

国見町立県北中学校

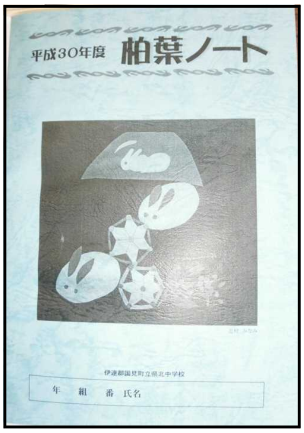
【取組の概要】

家庭学習充実のため、５教科で「家庭学習の手引き」を作成しており、全校生が常に目にし、活用できるように「柏葉ノート」に掲載している。また、個別指導の充実を図ることで、生徒たちの学習に対する意欲も高まってきている。

さらに、「家庭学習スタンダード」を配付するだけではなく、各家庭での認知状況等を確認したり、意識を啓発したりする取組も行っている。

**１　取組①　内容・方法を指導しています**

**（１）学校独自の生活記録ノート「柏葉ノート」を活用しての学び方指導**




「柏葉ノート」に各教科（５教科）の「家庭学習の手引き」を収録し、生徒たちが日常的に手引きを活用できるように配慮している。

また、学力向上グランドデザインに「学習の仕方が分かる生徒」の目標値を８０％以上（学習意識調査）と明記し、その具現化に向け、教科ごとの学び方指導に力を入れている。

「家庭学習の手引き」は、各教科で授業と家庭学習をつなげることを目標として作成し、全職員が共通理解を図って指導を進めている。

【「家庭学習の手引き」の内容・構成】

１　授業前　予習について　　２　授業後　復習について

３　テスト勉強について　　４　生活の中における教科での取り組み方について

国語科

《予習と準備》

①　教科書の文章を音読する。（ゆっくり、大きな声で、はっきりと！）

※　詩や短歌、俳句、そして古典（古文と漢文）は、暗唱できるくらいに音読しよう。

②　分からない部分や疑問に思うところ、不安なところは印をつけておく。

※　常に疑問を持って授業に臨むようにしよう。

《復習》

①　今日はどんなことを学習しましたか　：　ノートやワークシートなどを見直しましょう。

②　授業前の自分の課題は解決できましたか　：　疑問点をしっかり確認しましょう。

③　ワークの問題などを解いてみましょう　：　きちんと理解できていましたか。

④　漢字は必ず書いて覚えましょう　：　努力して練習しないと覚えられません。

数学科

《予習》

○　次時の授業の予習を行う。

・　教科書を読んだり、例題を解いたりする。

・　数学の友を教科書を参考にしながら自主的に進める。

《復習》

○　授業の中で理解できなかったことをその日のうちに確認し、できるようにする。

○　数学の友の問題を解き、授業で学習したことをしっかり定着させる。

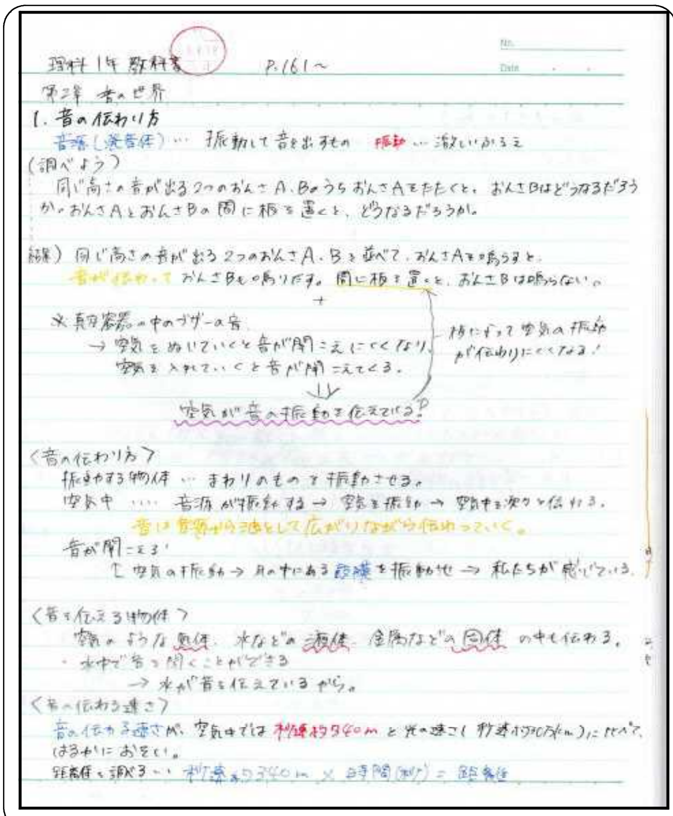
○　授業で提示された課題（宿題）に必ず取り組む。

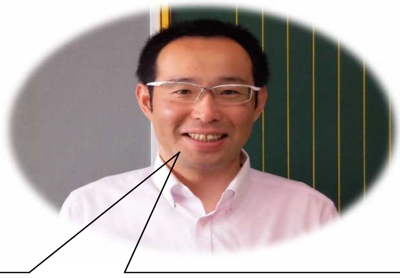
○　「自主学習ノート」を活用する。

※　「家庭学習の手引き」より一部抜粋

### （２）丁寧な個別指導

学級担任が自主学習ノートの点検だけでなく、よりよい学習となるよう、個別に助言を行うなど丁寧で細やかな指導を行っている。





アドバイスを基に、授業で学んだ内容を再度まとめ直してきました。よりよい学習、よりよいノート作りを目指す前向きな姿が素晴らしいです。

## ２　取組②　協力・連携体制を築いています

４月のＰＴＡ総会時に「家庭学習スタンダード」について、保護者に関心をもってもらうように、以下のような紙面を用意した。穴埋め形式にして提示することで、保護者が各家庭で何ができるかを考える機会となった。

### 「家庭学習スタンダード」読んでいただきましたか

学校としては、Ｒ－ＰＤＣＡサイクル（「Ｒ：自分を知る」「Ｐ：計画する」「Ｄ：自ら学習する」「Ｃ：確かめる」「Ａ：見直す」）を通して、「自分で学習や生活を改善する力」つまり**「○○○○○○○○力」**を身に付けることができるように指導、支援をしてまいります。

ご家庭では、３つの視点から「できること」を見付けてほしいと思います。

| | |
|---|---|
| 視点１**「○の支え」** | ・　コミュニケーションを大切にし、お子さんの言葉に耳を傾け、心に寄り添ってよき話し相手になりましょう。<br>・　自信をなくしたり、学習成果に不安を感じたりしているときには、安心感を与えてあげましょう。 |
| 視点２**「○○づくり」** | ・　学習する場所を整理し、集中できる環境をつくりましょう。<br>・　家族で一緒に読書をする機会を設けましょう。<br>・　図書館、公民館などの利用や体験活動を促しましょう。<br>・　地域行事に積極的に参加させましょう。 |
| 視点３**「○○づくり」** | ・　早寝・早起きやお手伝いの習慣を身に付けさせましょう。<br>・　朝ごはんは、必ず「毎日」、できるだけ「みんなで」食べましょう。<br>・　テレビやゲーム、スマホなどをするときのルールを決めましょう。 |

# 家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

| 取組の特徴 | **「自己マネジメント力」の育成、学校・保護者の連携** |
|---|---|

伊達市立松陽中学校

【取組の概要】

学校全体で生徒の「自己マネジメント力」の育成に取り組んでいる。また、中学校区４校の教師と保護者が、家庭学習について共通理解を図っている。

## １　取組①　共通理解を図り指導しています

### （１）Ｒ－ＰＤＣＡサイクルによる「自己マネジメント力」の育成

①　生徒の学びのサイクル

年度当初に「家庭学習スタンダード」をもとに改善した「学習の手引き」を配付し、活用することで、Ｒ－ＰＤＣＡサイクルを学校全体で推進している。

**Ｐ（Plan）**

家庭学習の計画を立てる。

**Ｄ（Do）**

実際に学習に取り組む。

**授業に臨む家庭学習を行う**

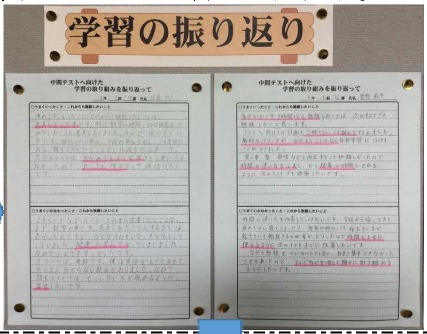
**Ｃ（Check）**

定期テスト等で学習の成果を確かめる。

**定期テスト等**

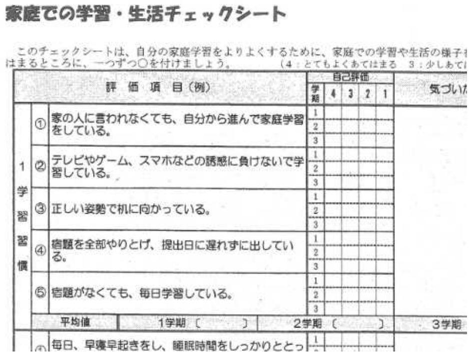
**Ａ（Action）**

学級活動の時間に「テスト勉強計画票」や「生活記録ノート」を活用し、自分に合った学習内容だったのかなど、学習内容・方法を振り返り、家庭での生活も含めて見直す。




**Ｒ（Research）**

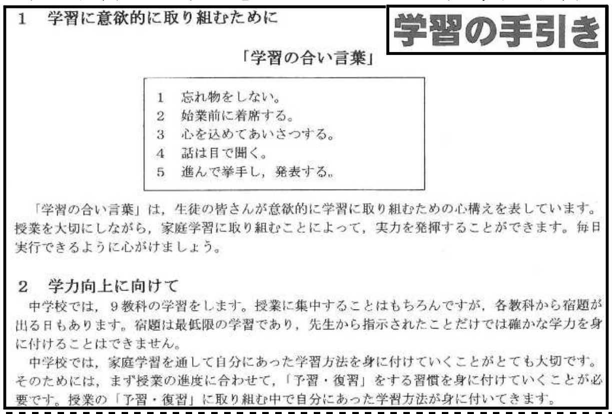
学習の振り返りの結果を受けて、「家庭での学習・生活チェックシート」を利用し、もう一度自分自身の取り組みを振り返り、「学習の手引き」を再度活用し、家庭学習の改善に生かしている。



**家庭での学習・生活チェックシート**

このチェックシートは、自分の家庭学習をよりよくするために、家庭での学習や生活の様子を
はまるところに、一つずつ○を付けましょう。　（4：とてもよくあてはまる　3：少しあて

| 評価項目（例） | | 学期 | 自己評価 4 | 3 | 2 | 1 | 気づいた |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 学習習慣 | ① 家の人に言われなくても、自分から進んで家庭学習をしている。 | 1 | | | | | |
| | | 2 | | | | | |
| | | 3 | | | | | |
| | ② テレビやゲーム、スマホなどの誘惑に負けないで学習している。 | 1 | | | | | |
| | | 2 | | | | | |
| | | 3 | | | | | |
| | ③ 正しい姿勢で机に向かっている。 | 1 | | | | | |
| | | 2 | | | | | |
| | | 3 | | | | | |
| | ④ 宿題を全部やりとげ、提出日に遅れずに出している。 | 1 | | | | | |
| | | 2 | | | | | |
| | | 3 | | | | | |
| | ⑤ 宿題がなくても、毎日学習している。 | 1 | | | | | |
| | | 2 | | | | | |
| | | 3 | | | | | |
| | 平均値 | 1学期（　　） | | 2学期（　　） | | | 3学期 |
| | ① 毎日、早寝早起きをし、睡眠時間をしっかりととっ | 1 | | | | | |



**学習の手引き**

1　学習に意欲的に取り組むために

「学習の合い言葉」

1　忘れ物をしない。
2　始業前に着席する。
3　心を込めてあいさつする。
4　話は目で聞く。
5　進んで挙手し，発表する。

「学習の合い言葉」は，生徒の皆さんが意欲的に学習に取り組むための心構えを表しています。授業を大切にしながら，家庭学習に取り組むことによって，実力を発揮することができます。毎日実行できるように心がけましょう。

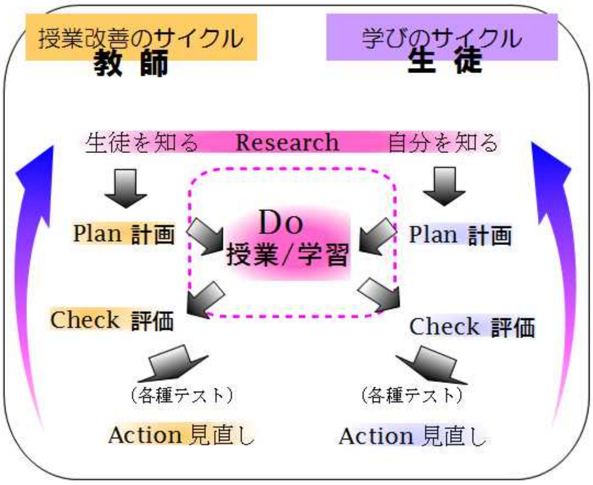
2　学力向上に向けて

中学校では，９教科の学習をします。授業に集中することはもちろんですが，各教科から宿題が出る日もあります。宿題は最低限の学習であり，先生から指示されたことだけでは確かな学力を身に付けることはできません。

中学校では，家庭学習を通して自分にあった学習方法を身に付けていくことがとても大切です。そのためには，まず授業の進度に合わせて，「予習・復習」をする習慣を身に付けていくことが必要です。授業の「予習・復習」に取り組む中で自分にあった学習方法が身に付いてきます。

② 教師の「授業改善のサイクル」

生徒が主体的に学習に取り組むためには、教師の授業力向上が必要不可欠である。そこで、「授業スタンダード」を活用した授業改善、全教員による授業研究の実施、各種テストの結果分析による課題把握など、教師自身もＲ－ＰＤＣＡサイクルを通して、生徒と共に「授業づくり」に取り組んでいる。




## ２ 取組① 協力・連携体制を築いています

### （１）中学校区４校での共通の取組

中学校１校と小学校３校において、小中連携会議を年２回実施している。昨年度は各学校から「学習の手引き」を持ち寄り、内容の再検討を行い、共通理解を図り改善を図った。

今年度の第１回会議では、５つの分科会に分かれ今までの成果と課題をもとに協議が行われた。分科会ごとに共通実践事項を決定し、今年度１年間を通した中学校区４校の取組について、共通理解を図った。共通実践事項については、保護者にも学年便りや保護者会等で周知し、学校と保護者が一体となって実践できるようにしている。

【共通実践事項】

○ 第１分科会「小中連接」
*笑顔であいさつ　広げよう元気*

○ 第２分科会「生徒指導」
*ゲーム，スマホは１日１ｈ，２１時以降はやらない*

○ 第３分科会「学習・進路指導」
*チャイム前着席*
*学び合いをしたことを振り返る*

○ 第４分科会「特別支援教育」
*すべての児童生徒の学びやすさを追求*

○ 第５分科会「体力向上」
*いろいろな体験・運動の機会をもつ*

### （２）学校ホームページの積極的な活用

学校ホームページにおいて、生徒の学校生活の様子を保護者や地域に向けて配信している。学校行事など特別な場合だけの配信ではなく、普段の授業の様子についても積極的に配信することで、生徒が学校において、どのような学習をしているのかを知ってもらうことができ、家庭での学習環境づくりや心の支えに結びつくよう工夫している。

# 家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

| 取組の特徴 | **「課題量の調整」と「進路指導による家庭学習の意識付け」** |
|---|---|

二本松市立岩代中学校

【取組の概要】

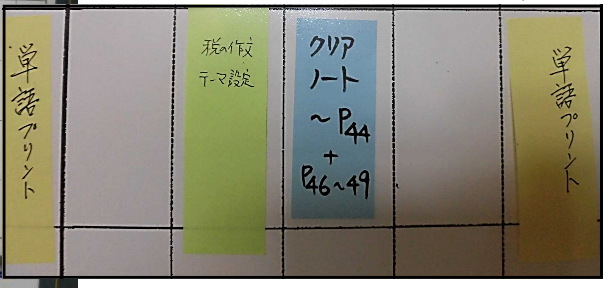
宿題等の課題量の調整を、各学年・各教科で行い、生徒たちに提示している。また、上級学校訪問など進路指導を充実させることをとおして、授業はもちろん、家庭学習も含めた学習意欲の喚起、高揚を図っている。

## 1　取組①　共通理解を図り指導しています

### （１）課題量の調整

職員室前の掲示板に宿題一覧を掲示。各教科、各学年の宿題が一目で確認できるようになっており、教員間で課題量の調整を行う際の参考になっている。

（各教科の宿題は付箋に書かれ、簡単に貼ったり、はがしたりできるのも便利。）




また、課題量の調整以外にも、生徒たちがその日、その週の宿題を把握するのにも役立っており、家庭での学習に見通しをもつことができている。

### （２）長期休業中における部活動での学習タイムの設定

長期休業中は、家庭で過ごす時間が多くなり、家庭での学習がなかなかコントロールできない状況になりやすい。

そこで、部活動の前後に学習時間を設定し、課題に取り組ませることで、その後の家庭学習につなげる取組を行っている。

## 2　取組②　授業と家庭学習をつなげます

### ○　基礎学力コンテストと家庭学習

各学年、それぞれ５教科の「基礎学力コンテスト」を年１回実施している。

各教科とも知識・理解及び技能を中心とした出題となっており、家庭学習において、繰り返し学習することを通して、学習内容の確実な定着を図るとともに、「わかった」「できた」という達成感や成就感を味わわせることもねらっている。成績上位者には、表彰を行い、その頑張りを称賛している。

## 3　取組③　協力・連携体制を築いています

### ○　学校ホームページの活用

基礎学力コンテストの様子や中間・期末テスト等の予告、各教科学習の意義、生徒の学習への取組の様子、生徒の進路選択への支援の必要性など、学校ホームページを通して、保護者等への話題提供と意識を高める働きかけを行っている。

## 4　取組④　その他の取組

### （１）将来に夢を馳せる進路指導の充実

３年生が２日間に渡って、大学や専門学校等の上級学校訪問を実施することで、生徒が自分の進路選択を考える上での参考にする機会としている。

| | |
|---|---|
| 《１日目》福島大学 | ：図書館見学とキャリア教育の講義 |
| | ハローワークの方から働くことの意義についての講義 |
| 《２日目》ＦＳＧカレッジリーグ | ：見学、体験 |

生徒が進路選択する上で、自分の将来像を思い描くことが大切である。しかし、材料がなければ具体的なイメージがもてないばかりか、考えるきっかけすらつかみにくいのが現状であるため、上級学校訪問を行っている。これがきっかけとなり、日頃の何気ない出来事にも自分の将来と結びつけて考える機会が生まれるため、家庭学習に対する向き合い方も変わってきている。

### （２）生徒の自主的活動によるノーネットデー

過剰なネット利用により家庭における学習時間を圧迫している状況が見られる。その問題を解決するために全校道徳を実施し、自分たちの課題としてとらえさせ、解決策を話し合わせた。それを踏まえて、生徒会がネット利用のルールとしてとりまとめ、臨時生徒会総会でルールが制定された。「１のつく日はノーネットデー」となったほか、定期テスト２週間前からホップ・ステップ・ジャンプのノーネットデーを段階的に設け、家庭学習に力を入れることになった。また、保護者にも学校だよりやホームページなどを活用して、協力の要請を図っている。

全校道徳の話し合いの場面

臨時生徒会総会の様子

# 家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

| 取組の特徴 | **「共通実践の継続」と「自己有用感の高揚」** |
|---|---|

田村市立船引小学校

【取組の概要】

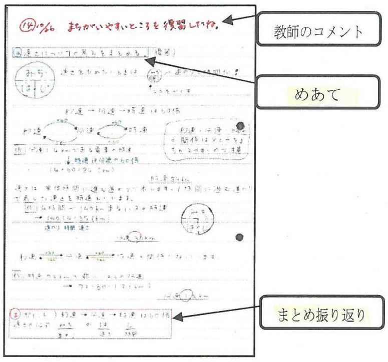
家庭学習について教職員が共通理解を図り、共通実践を継続して行っている。また、保護者と連携を図り、子どもたちの自己有用感を高める手立てを講じることで、意欲的な自主学習への取組が生まれている。

## 1　取組①　内容・方法を指導します

### （1）「手引き」に基づく、共通実践の徹底

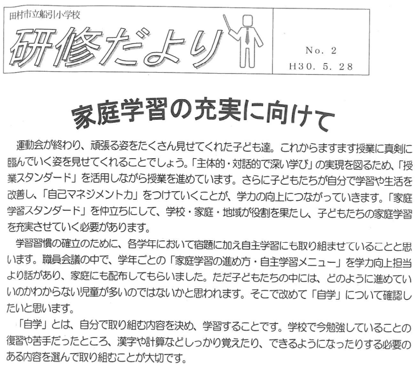
「船引小学校学習のきまり」「家庭学習の進め方」について、年度初めに教職員で共通理解の場をもち、共通実践を図っている。

自主学習の取組では、児童自身で設定した「めあて」、取り組んだ内容についての「振り返り」を記入させている。教師は、改善へのアドバイスや取組への称賛のコメントを記入し、自主学習への意欲付けを図っている。



＜自主学習ノート＞

また、「現職だより」や「職員会議」で家庭学習への取組について、各学年間の取組に差が出ないように確認する機会を設けている。

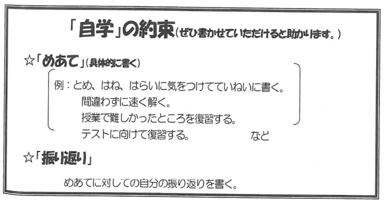

田村市立船引小学校
研修だより
No. 2
H30. 5. 28

家庭学習の充実に向けて

運動会が終わり、頑張る姿をたくさん見せてくれた子ども達。これからますます授業に真剣に臨んでいく姿を見せてくれることでしょう。「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るため、「授業スタンダード」を活用しながら授業を進めています。さらに子どもたちが自分で学習や生活を改善し、「自己マネジメント力」をつけていくことが、学力の向上につながっていきます。「家庭学習スタンダード」を仲立ちにして、学校・家庭・地域が役割を果たし、子どもたちの家庭学習を充実させていく必要があります。

学習習慣の確立のために、各学年において宿題に加え自主学習にも取り組ませていることと思います。職員会議の中で、学年ごとの「家庭学習の進め方・自主学習メニュー」を学力向上担当より話があり、家庭にも配布してもらいました。ただ子どもたちの中には、どのように進めていいのかわからない児童が多いのではないかと思われます。そこで改めて「自学」について確認したいと思います。

「自学」とは、自分で取り組む内容を決め、学習することです。学校で今勉強していることの復習や苦手だったところ、漢字や計算などしっかり覚えたり、できるようになったりする必要のある内容を選んで取り組むことが大切です。


「自学」の約束（ぜひ書かせていただけると助かります。）

☆「めあて」（具体的に書く）

例：とめ、はね、はらいに気をつけてていねいに書く。
間違わずに速く解く。
授業で難しかったところを復習する。
テストに向けて復習する。　など

☆「振り返り」

めあてに対しての自分の振り返りを書く。

### （2）ノートの展示

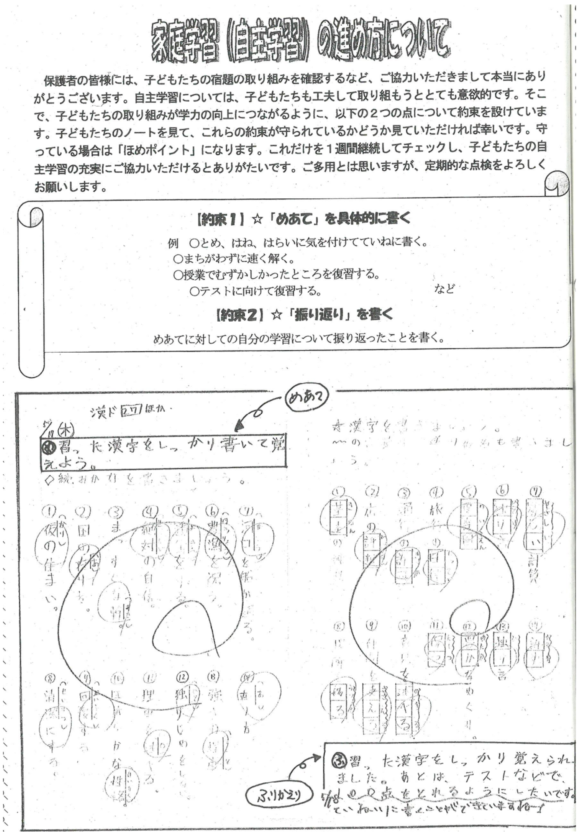
素晴らしい取組をしている自主学習ノートを廊下に展示するだけでなく、１冊目、２冊目と過去のノートも並べている。同クラス、同学年だけでなく、異学年のノートもいつでも見に行ける環境が整っている。

＜お互いのノートを見合う１年生＞
取り組んだ内容について説明し合っています。
「〇〇ちゃん、きれいな字だね。」
「わたしは、たし算をやってきたんだ。」
「いっぱいやっていて、すごいね。」

## ２　取組②　協力・連携体制を築きます

### （１）お便り・ホームページをとおした学校の取組の発信

授業参観や学級懇談で家庭学習の現状や成果・課題を保護者と共有している。また、実例を挙げて家庭学習の進め方を紹介している。さらに、学校のホームページに各学年での取組を紹介することで、取組の経過を保護者に知らせるとともに、家庭学習への関心を高めるようにしている。


家庭学習（自主学習）の進め方について

保護者の皆様には、子どもたちの宿題の取り組みを確認するなど、ご協力いただきまして本当にありがとうございます。自主学習については、子どもたちも工夫して取り組もうとても意欲的です。そこで、子どもたちの取り組みが学力の向上につながるように、以下の２つの点について約束を設けています。子どもたちのノートを見て、これらの約束が守られているかどうか見ていただければ幸いです。守っている場合は「ほめポイント」になります。これだけを１週間継続してチェックし、子どもたちの自主学習の充実にご協力いただけるとありがたいです。ご多用とは思いますが、定期的な点検をよろしくお願いします。

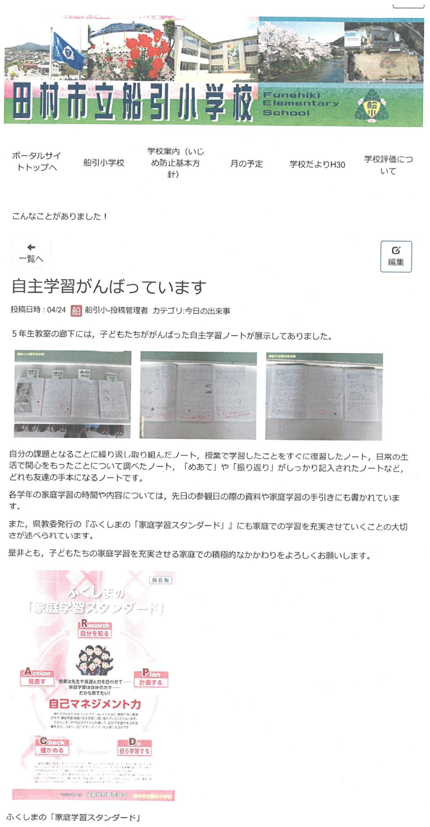
【約束１】☆「めあて」を具体的に書く

例　○とめ、はね、はらいに気を付けてていねいに書く。
○まちがわずに速く解く。
○授業でむずかしかったところを復習する。
○テストに向けて復習する。　など

【約束２】☆「振り返り」を書く

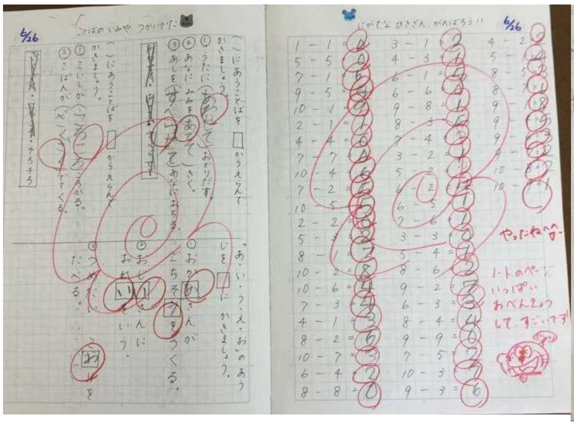
めあてに対しての自分の学習について振り返ったことを書く。

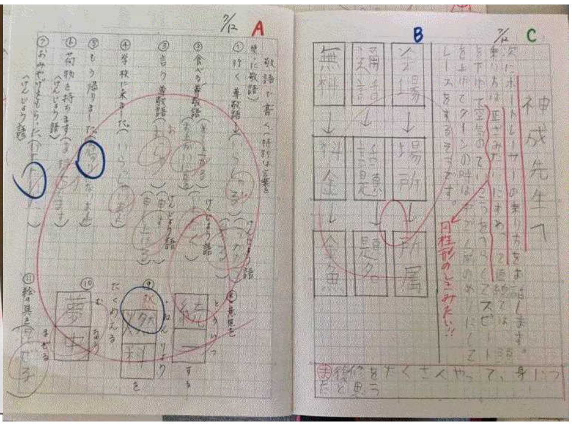





### （２）保護者の手が加わった自主学習ノート

学校から配付された「学習のきまり」と「家庭学習の約束」により我が子の家庭学習に対する、保護者の意識が高まり、子どもの自主学習に一緒に取り組む事例が増えてきた。下の例では、１年生の保護者が、一緒にめあてをつくり、問題を作成して丸付けを行っている。また、５年生の保護者は、子どものめあてに沿った問題を作り、答え合わせをしている。





# 家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

| 取組の特徴 | **「学校目標達成ビジョン〈家庭版〉の作成」と「家庭との目標の共有」** |
|---|---|

浅川町立里白石小学校

【取組の概要】

子どもたちに「自己マネジメント能力」を育成すべく、家庭学習の取組はもちろん、学校の教育活動全般において、「目標設定」と「振り返り」を大切にした教育活動を展開している。

## 1 取組①　協力・連携体制を築いています

**保護者への啓発**

- 授業参観全体会で「家庭学習スタンダード」を周知（校長、学年担当）
- 「学校目標達成ビジョン〈家庭版〉の作成」と「家庭との目標の共有」

**平成30年度　里白石小学校　学校目標達成ビジョン〈家庭版〉**

教育目標　心身ともに健康で人間性豊かな子ども

○　さいごまであきらめない子ども　（知）
○　つよい心と思いやりのある子ども（徳）
○　きちんと体をきたえる子ども　（体）

重点目標
思いやりのある高めあう集団をつくり、その集団にいることで、児童全員が「夢」「希望」をもち、「生きる力」を身に付け、自立して自己実現を図っていくことができるようにする。

［教育スローガン］
感謝　笑顔　なかよく

教育目標に基づいて、目指す児童像を以下のような姿とし、今年度の目標を設定しました。学校、家庭が目標を共有して、学校目標を達成し、子どもたちの夢の実現、生涯にわたる幸せ、地域を担う人材の育成に向けて取り組んでいきましょう。

今年度のめざす児童の姿

地域・人とかかわりながら自らをきたえるたくましい子ども

| 話を分かろうとして聴き、考え、表現する子ども | 人と進んで関わり、気づき考え実行する子ども | 自分の目標に向かって、体と心をきたえる子ども |
|---|---|---|
| **家庭での目標** | | |
| ○毎日、家庭で予習や復習をします。<br>◆宿題と自主学習を必ずやっている。<br>1年生　20分以上<br>2年生　30分以上<br>3年生　40分以上<br>4年生　50分以上<br>5年生　1時間<br>6年生　1時間10分以上<br>○漢字や基本的な計算は、満点が取れるまで、家でも努力します。<br>◆漢字テスト、計算テストは、満点をとるまで努力している。<br>○たくさん読書をします。<br>◆家庭で読書　10分以上<br>1か月の目標読書冊数<br>1・2年生　月　15冊以上<br>3・4年生　月　10冊以上<br>5・6年生　月　8冊以上 | ○あいさつや返事や受け答えをしっかりします。<br>◆あいさつ7項目ができている。<br>声、相手を見て、だれにでも いつでも、先に、えがおで、礼<br>◆返事、受け答えをしっかり行っている。<br>○毎日、おうちの人に学校であったことを話します。<br>◆道徳の日、家庭で話し合っている。<br>○進んで家族の一員として仕事をします。<br>◆家族の一員として、家の仕事を継続して行っている。<br>○地域の方々にあいさつをし、地域の行事に参加します。<br>◆地域の方へのあいさつを明るくし地域の行事等に参加している。 | ○進んで強い体をつくります。<br>◆水泳、マラソン、なわとびの自分の目標達成のために努力し目標を達成している。<br>◆毎日歩いて登校している。<br>○よい生活習慣を身につけます。<br>◆早寝・早起き・朝ごはん、歯磨き メディアコントロールができている。<br>○自分で考え判断し安全に行動します。<br>◆自分で考え判断し、安全に行動している。 |

**ご家庭にお願いしたいこと**

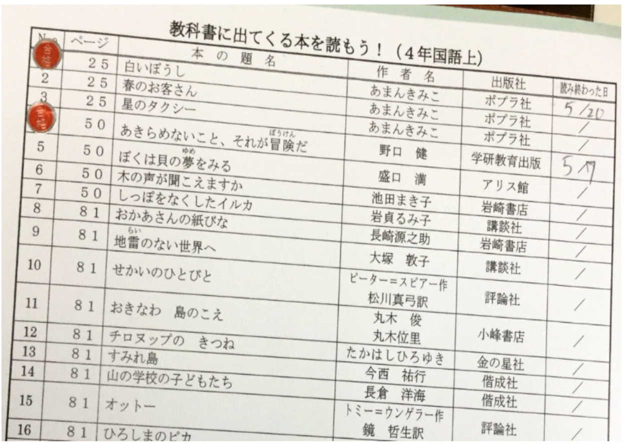
| | | |
|---|---|---|
| ・家で読書ができる環境をつくってあげましょう。<br>・家庭学習を自分で計画を立ててできる環境をつくってあげましょう。<br>・がんばっていることをほめてあげましょう。（家庭学習、ノート、読書等） | ・家族で元気にあいさつしたり、地域の方にも進んであいさつするようにさせましょう。<br>・家族で話をする時間をたくさんもちましょう。（道徳の日の話し合い等）<br>・できるだけ、何でも子どもにまかせ気づかせ、考えさせ、実行させましょう。そして、たくさんほめるきっかけをつくってあげましょう。<br>・家族の一員として、家の仕事ができるようにしましょう。 | ・たくましい体と心と感性を育むため、徒歩で登校させましょう。<br>・子どもたちの今と未来の健康のため、歯の治療等を行いましょう。<br>・子どもたちの今と未来の健康のためのよい生活習慣をつけてあげましょう。（食、早寝早起き、メディアとの付き合い方） |

## 2 取組②　内容・方法を指導しています

### （1）「目標設定」と「振り返り」

#### ①「家庭学習の記録カード」の活用

- 昨年度から、全学年で、家庭での学習の様子（学習、読書、お手伝い、テレビやゲームの時間）とともに、週のはじめに「家庭学習のめあて」、週の終わりに、その「振り返り」を記入させることで、自己マネジメント力の育成につなげている。（自己のよさの自覚と発揮・改善）



教科書に出てくる本を読もう！（４年国語上）

| No. | ページ | 本の題名 | 作者名 | 出版社 | 読み終わった日 |
|---|---|---|---|---|---|
| | ２５ | 白いぼうし | あまんきみこ | ポプラ社 | 5/20 |
| 2 | ２５ | 春のお客さん | あまんきみこ | ポプラ社 | / |
| 3 | ２５ | 星のタクシー | あまんきみこ | ポプラ社 | / |
| | ５０ | あきらめないこと、それが冒険だ | 野口　健 | 学研教育出版 | 5/7 |
| 5 | ５０ | ぼくは貝の夢をみる | 盛口　満 | アリス館 | / |
| 6 | ５０ | 木の声が聞こえますか | 池田まき子 | 岩崎書店 | / |
| 7 | ５０ | しっぽをなくしたイルカ | 岩貞るみ子 | 講談社 | / |
| 8 | ８１ | おかあさんの紙びな | 長崎源之助 | 岩崎書店 | / |
| 9 | ８１ | 地雷のない世界へ | 大塚　敦子 | 講談社 | / |
| 10 | ８１ | せかいのひとびと | ピーター＝スピアー作 松川真弓訳 | 評論社 | / |
| 11 | ８１ | おきなわ　島のこえ | 丸木　俊 丸木位里 | 小峰書店 | / |
| 12 | ８１ | チロヌップの　きつね | たかはしひろゆき | 金の星社 | / |
| 13 | ８１ | すみれ島 | 今西　祐行 | 偕成社 | / |
| 14 | ８１ | 山の学校の子どもたち | 長倉　洋海 | 偕成社 | / |
| 15 | ８１ | オットー | トミー＝ウンゲラー作 鏡　哲生訳 | 評論社 | / |
| 16 | ８１ | ひろしまのピカ | | | |

**②「読書カード」の活用**

・　学校で毎朝１０分間の読書活動を実施。家庭においても１０分以上の読書活動を行っている。

・　家庭学習同様、「目標」と「振り返り」を大切にしている。

（一月の目標冊数：低学年１５冊、中学年１０冊、高学年８冊）

※　教科書教材に関連する図書リストの準備。(保護者からは、「何を読ませればよいか分かりやすい」とたいへん好評)

**（２）「家庭学習の手引き」の活用**

・　「家庭学習の手引き」には、家庭での学習の仕方や学習内容の例（パワーアップ自主学習ガイド）を掲載。

・　ラミネート加工してノートに挟ませ、勉強する際に常に意識できるように配慮している。

家庭学習の手引き
～ 3·4年生 ～

きっと明日の勉強が楽しくなるよ！明日からの自分が変わるよ！わくわく家庭学習!!

３年生は４０分以上・４年生は５０分以上

浅川町立里白石小学校

家庭学習を
「必ずやる」「集中してやる」「ていねいにやる」

家庭学習のめあて
◎　宿題が終わったら、自主学習にチャレンジしよう。

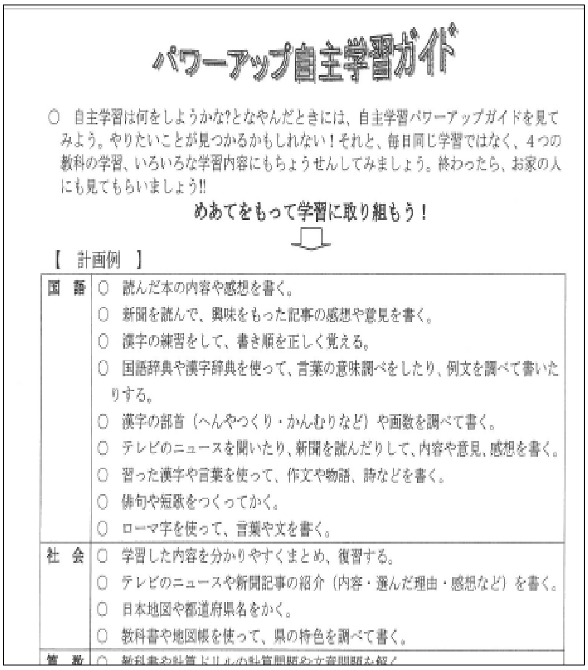
家庭学習のすすめかた
テレビを消す
宿題をする
自主学習をする
明日のじゅんびをする

おうちの人と話し合って、家庭学習を始める時刻を決めましょう。

・3年生は40分以上
・4年生は50分以上

家庭学習をがんばろう

今までの学習をふりかえろう
- □ 時刻を決めて、早めに、学習を始めた。
- □ テレビを消して、学習した。
- □ つくえの上をきれいに片づけしてから始めた。
- □ よい姿勢をとり、正しいえんぴつのもちかたができた。
- □ 字をていねいに書いた。
- □ 家庭学習が終わってから、明日のじゅんびもした。



パワーアップ自主学習ガイド

○　自主学習は何をしようかな?となやんだときには、自主学習パワーアップガイドを見てみよう。やりたいことが見つかるかもしれない！それと、毎日同じ学習ではなく、４つの教科の学習、いろいろな学習内容にもちょうせんしてみましょう。終わったら、お家の人にも見てもらいましょう!!

めあてをもって学習に取り組もう！

【　計画例　】

| | |
|---|---|
| 国　語 | ○　読んだ本の内容や感想を書く。<br>○　新聞を読んで、興味をもった記事の感想や意見を書く。<br>○　漢字の練習をして、書き順を正しく覚える。<br>○　国語辞典や漢字辞典を使って、言葉の意味調べをしたり、例文を調べて書いたりする。<br>○　漢字の部首（へんやつくり・かんむりなど）や画数を調べて書く。<br>○　テレビのニュースを聞いたり、新聞を読んだりして、内容や意見、感想を書く。<br>○　習った漢字や言葉を使って、作文や物語、詩などを書く。<br>○　俳句や短歌をつくってかく。<br>○　ローマ字を使って、言葉や文を書く。 |
| 社　会 | ○　学習した内容を分かりやすくまとめ、復習する。<br>○　テレビのニュースや新聞記事の紹介（内容・選んだ理由・感想など）を書く。<br>○　日本地図や都道府県名をかく。<br>○　教科書や地図帳を使って、県の特色を調べて書く。 |

## ３　取組③　共通理解を図り指導しています

**（１）家庭学習オリエンテーション、読書オリエンテーションの実施**

・　全校朝の会で「家庭学習」「読書」について担当がガイダンスを実施。

・　全校生に目的を伝え、一人一人に目標をもたせた上で、主体的に取り組むことができるようにしている。

・　全校生を対象にオリエンテーションを実施することで、学校全体（全児童、全職員）で共通理解が図られ、ぶれない指導が可能になる。

・　朝の全校集会時等に繰り返しオリエンテーションを行うことで定着を図る。

**（２）「家庭学習の手引き」の作成・配付**

学年に応じた「家庭学習の手引き」（低学年・中学年・高学年）の作成・配付。

# 家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

| 取組の特徴 | **「３点固定」と「メディアコントロール」** |
|---|---|

須賀川市立仁井田中学校

【取組の概要】

自主的に家庭学習に取り組む生徒は多いが、家庭学習の質を高めたい。そのためにも、小・中学校の連携とともに、家庭・地域も巻き込んで、生徒の自己マネジメント力の向上を目指して取り組んでいる。

## １　取組①　共通理解を図り指導しています

### （１）中学校区での共通の取組

中学校区において以下の２点について連携を図った実践を行っている。

①　「３点固定」：起床・就寝・学習開始時刻の固定

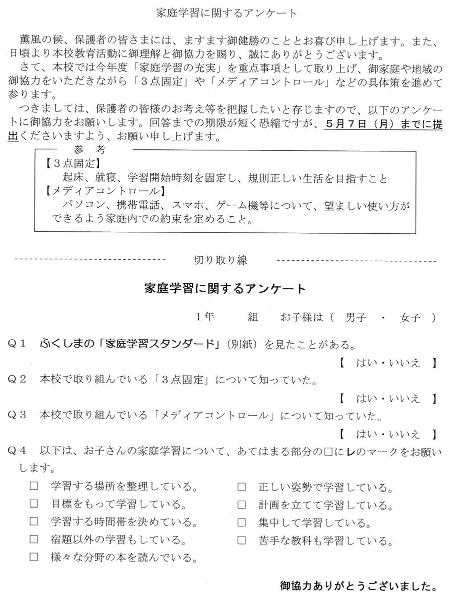
②　「メディアコントロール」：スマートフォンやゲーム機等の望ましい使い方ができるよう家庭内での約束を定める。

### （２）意識調査の実施

年度当初に、以下の目的で意識調査を実施した。

①　各家庭における「家庭学習スタンダード」「３点固定」「メディアコントロール」の認知度把握

②　生徒の家庭学習状況の振り返り（「家庭学習スタンダード」中面９つのチェック項目「お子さんと一緒に家庭学習を振り返ってみませんか？」を活用）



家庭学習に関するアンケート

薫風の候、保護者の皆さまには、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校教育活動に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本校では今年度「家庭学習の充実」を重点事項として取り上げ、御家庭や地域の御協力をいただきながら「３点固定」や「メディアコントロール」などの具体策を進めて参ります。

つきましては、保護者の皆様のお考え等を把握したいと存じますので、以下のアンケートに御協力をお願いします。回答までの期限が短く恐縮ですが、**５月７日（月）までに提出**くださいますよう、お願い申し上げます。

参　考

【３点固定】
起床、就寝、学習開始時刻を固定し、規則正しい生活を目指すこと
【メディアコントロール】
パソコン、携帯電話、スマホ、ゲーム機等について、望ましい使い方ができるよう家庭内での約束を定めること。

切り取り線

**家庭学習に関するアンケート**

１年　　組　　お子様は（　男子　・　女子　）

Ｑ１　ふくしまの「家庭学習スタンダード」（別紙）を見たことがある。
【　はい・いいえ　】

Ｑ２　本校で取り組んでいる「３点固定」について知っていた。
【　はい・いいえ　】

Ｑ３　本校で取り組んでいる「メディアコントロール」について知っていた。
【　はい・いいえ　】

Ｑ４　以下は、お子さんの家庭学習について、あてはまる部分の□にレのマークをお願いします。

□　学習する場所を整理している。　□　正しい姿勢で学習している。
□　目標をもって学習している。　□　計画を立てて学習している。
□　学習する時間帯を決めている。　□　集中して学習している。
□　宿題以外の学習もしている。　□　苦手な教科も学習している。
□　様々な分野の本を読んでいる。

**御協力ありがとうございました。**

意識調査の結果、「家庭学習スタンダード」等の認知度は決して高いとはいえない現状であった。

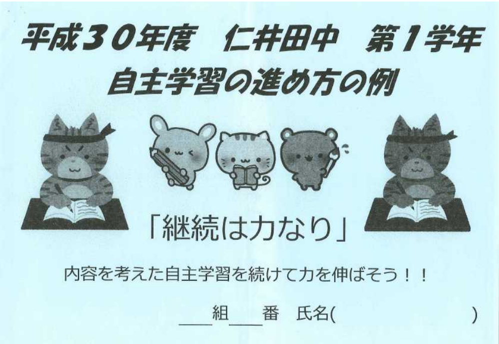
また、一方で、９つの項目中６項目で肯定的な回答が上回るなど、家庭学習に対する意識の高さが伺えた。今後は、県教育委員会作成の「家庭での学習・生活チェックシート」の活用を検討している。生徒自身が学期ごとに振り返るとともに、一人一人の変容を見取り、様々な取組について家庭や地域に発信していく予定である。

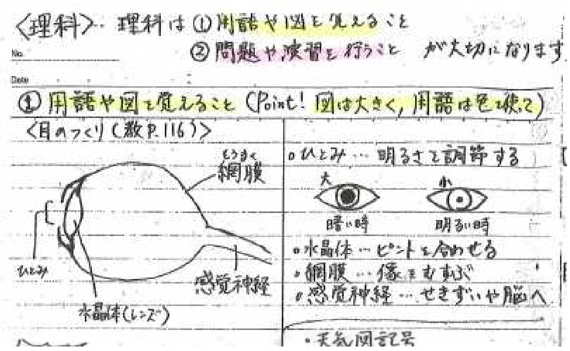
## ２　取組②　内容・方法を指導しています

### （１）家庭学習ノートの充実を図る取組

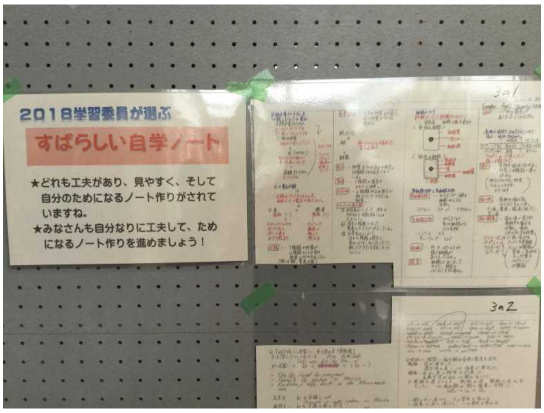
「家庭学習スタンダード」を基に、各学年の実態に応じて、学習のポイントを明記した「自主学習の進め方の例」を配付している。

生徒は、この例を参考にしながら自主学習を進めているが、次第に、「自分なりの工夫」をする生徒が出てきている。「自主学習の進め方の例」は、あくまでも一つのモデルであり、生徒自身が、自分の個性を発揮して、より自分に適した自主学習の進め方を確立することができるように、見取り、励ましている。

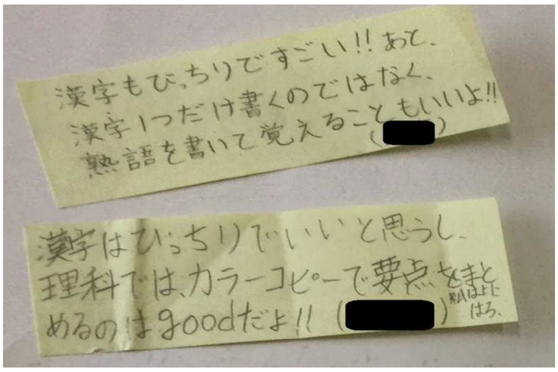


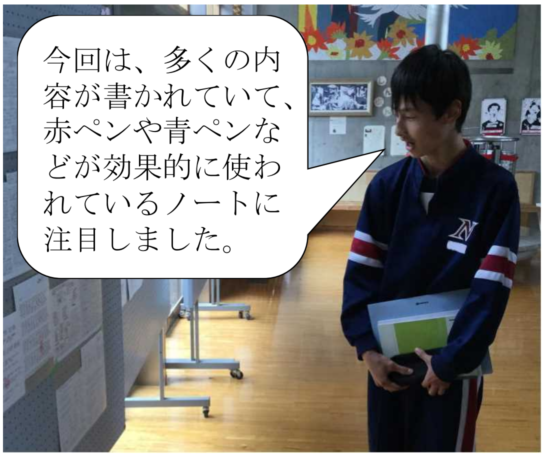




また、生徒会の学習委員が中心となり、他の模範となる家庭学習ノートを選んで、廊下に掲示している。学習副委員長に話を聞くと、どのような視点でノートを選んだのか、明確に答えることができ、生徒たちが自ら進んで活動している様子が伝わってきた。掲示されたノートを見ることが、生徒自身が家庭学習ノートを振り返る機会となっており、よい刺激となっている。

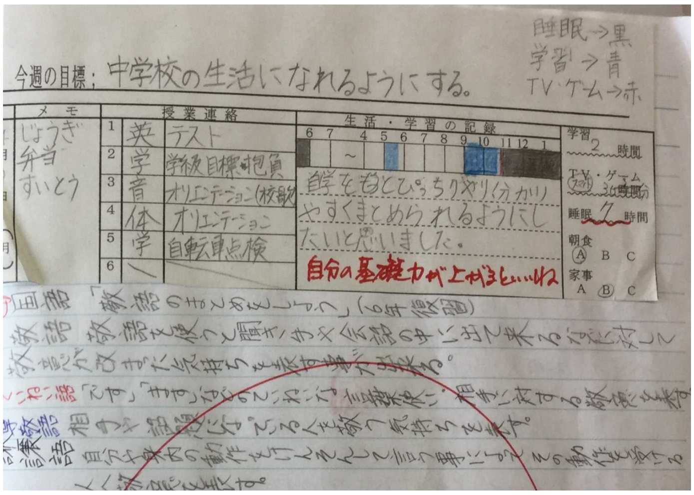



その他にも、互いの家庭学習ノートを見合い、よい点や改善点を付箋に書き、意見交流を行っている学級もある。




**（２）家庭学習ノートと生活の記録の融合**




家庭学習ノートの上部に、毎日の生活の記録を貼り付け、翌日の予定や生活の反省、「３点固定」や「メディアコントロール」に関する項目について記入させている。その日の学習内容や翌日の予定などが、家庭学習ノートを見るだけで確認ができ、生徒自身が計画的に家庭学習を行えるよう工夫している。

# 家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

| 取組の特徴 | **「１２の約束」、学びの質の転換** |
|---|---|

郡山市立逢瀬中学校

【取組の概要】

小規模校の「よさ」、生徒の「よさ」を生かし、一人ひとりを伸ばす学校を目指し、きめ細かな指導にチームとして取り組んでいる。また、小・中学校の連携とともに地域との連携も密にして、保護者・地域と共に歩む学校づくりを行い、地域全体で生徒の自己マネジメント力の向上に取り組んでいる。

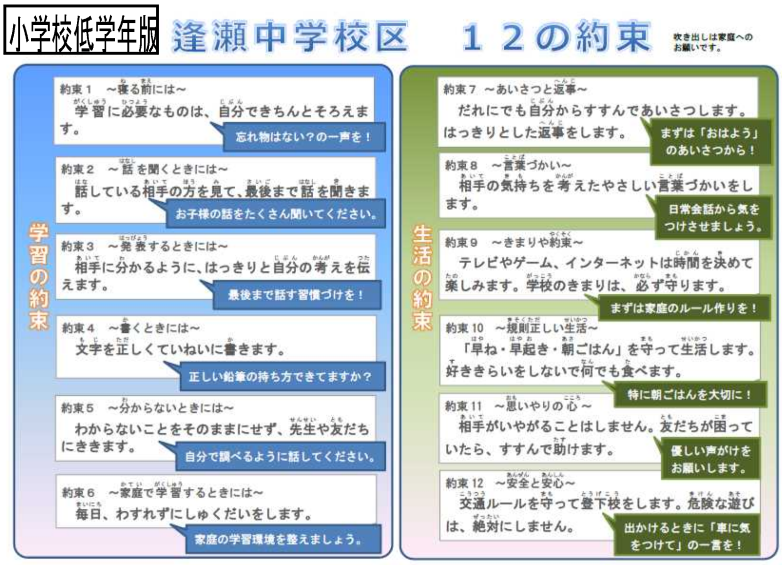
## 1　取組①　協力・連携体制を築いています

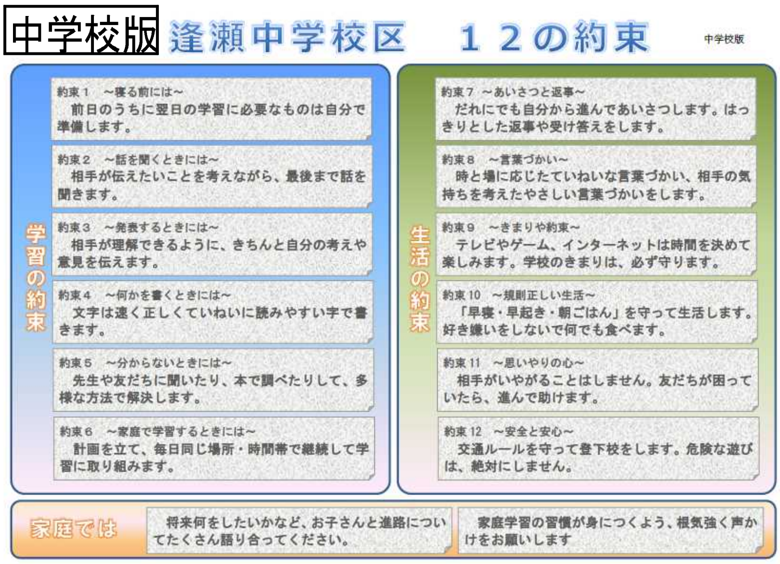
### （１）中学校区３校での共通の取組

中学校区３校において「１２の約束」を作成し、児童生徒及び各家庭に配付している。「１２の約束」は「学習の約束」と「生活の約束」それぞれ６つの約束から構成されており、９年間を通して学習習慣、生活習慣の確立を目指している。発達段階に応じて４パターン（小学校低・中・高、中学校）用意されており、小学校段階においては、子どもに対する家庭での働きかけを具体的に例示し、家庭での協力が得られるよう配慮している。

また、中学校段階においては、生徒の自主性を育てるため「１２の約束」について繰り返し指導を行っている。

小規模学校のよさを生かし、一人一人の家庭学習の様子を丁寧に見取ることで子どもを伸ばす学校づくりを目指している。



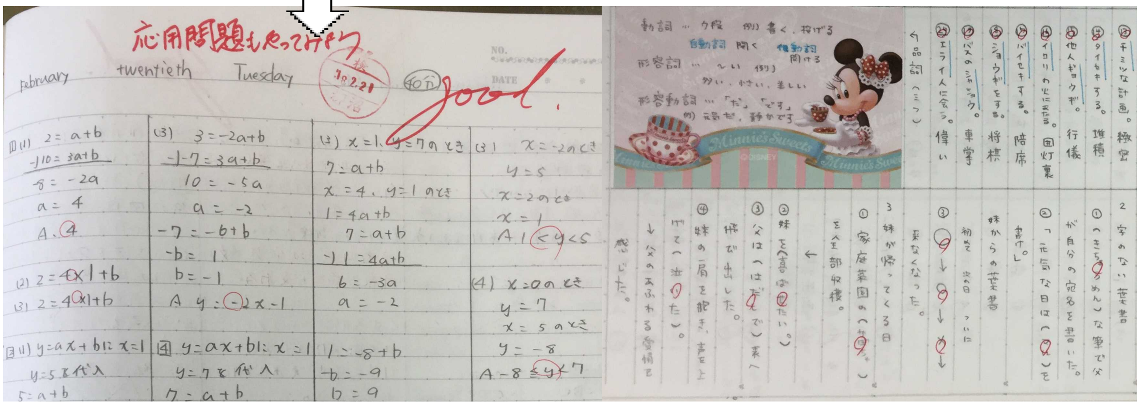
## （２）３校合同でのＰＴＡ連絡協議会や学校評議員会の実施による連携体制の確立

小中連携の充実を図り、授業や部活動の交流や中学校教員による出前授業など、児童生徒の交流活動を積極的に行ったり、３校の全教員が集まり授業研究会を行い、指導力向上に努めたりしている。さらに、「１２の約束」を家庭だけではなく地域にも配布したり、３校合同のＰＴＡ連絡協議会や学校評議員会を実施して、学校と家庭、地域が教育活動の成果や課題を共有したりするなど、地域全体で一丸となり、児童生徒の教育に取り組んでいる。

## ２　取組②　内容・方法を指導しています

### 学びの習熟・発展を図る内容への質の転換

① 「家庭学習スタンダード」の Research（自分を知る）・Plan（計画する）・Do（自ら学習する）に重点を置き、小学校での指導を引き継ぎ、学習の習慣化と質の向上を図る指導を継続して行っている。家庭学習ノートに担任がコメントを記入し称賛やアドバイスを行ったり、見本となる家庭学習ノートを教室や廊下に掲示したりするなど、生徒の取組を認め、伸ばしていくことに全職員で取り組んでいる。継続して取り組んできたことにより、自分自身の課題に気付き、その課題を解決するために学習内容を工夫する姿が見られ、家庭学習の質の転換が図られてきている。その成果が、全国学力・学習状況調査や県学力調査、ＮＲＴ等にも表れている。



② 家庭学習の充実を図るために、「いつも決まった場所で」「計画した時間に」「テレビを消して」等、家庭での学習習慣の確立について、学年便りや保護者会等でも家庭への協力を継続して呼びかけている。

③ 校長が朝学習で生徒に計算問題を出題し、解答を行うなど、管理職も含め全教職員が一丸となって、生徒の学力向上に取り組んでいる。また、学校図書館の充実を図り、「朝の読書」だけでなく、家庭での読書「家読」の時間の確保にも努めている。学校での学習環境づくりが家庭学習の基盤になると考え、学校全体で取り組んでいる。

# 家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

| 取組の特徴 | **全国学力・学習状況調査等やＱＵの分析結果を生かした学校経営と保護者と協力した家庭学習の習慣化に向けた取組** |
|---|---|

白河市立白河第三小学校

【取組の概要】

全国学力・学習状況調査等や年間２回実施のＱＵの分析結果を基に、授業改善、授業と家庭学習の接続、よりよい学級集団づくりを学校全体で行っている。
また、「家庭学習の手引き」や「○年生の家庭学習」、「家庭学習・生活表」などを活用して、保護者との協力体制を確立し、児童の家庭学習の習慣化に向けた取組を行っている。

## １　取組①　共通理解を図り指導しています

### （１）全国学力・学習状況調査等の結果分析による授業改善と授業と家庭学習の接続に向けた取組

全国学力・学習状況調査の実施後すぐに自校採点を行い、結果を分析している。その他の学力調査等の結果も踏まえ、校内研修等において全教職員で成果と課題や今後の指導について協議を行い、４月の段階で共通理解を図っている。それらを基に、授業や「家庭学習の手引き」等を見直し、「子どもの心に火（意欲）を灯す」教育活動をモットーに学力向上に向けた取組を行っている。

### （２）ＱＵの分析結果を生かしたよりよい学級集団づくり

ＱＵを年間２回実施し、その分析結果を基に、人間関係づくりや児童理解、授業改善の方途を検討している。また、構成的グループエンカウンターの実践を通して、よりよい学級集団づくりに学校全体で取り組み、教育活動全体の基盤としている。

＜学力向上グランドデザインの一部＞

## ２　取組②　協力・連携体制を築いています

### ○　保護者と協力した家庭学習の習慣化に向けた取組

年度当初、家庭に「家庭学習スタンダード」に基づいて作成している「大切です！家庭学習（家庭学習の手引き）」を配付し、学年懇談会や学年だより等で、継続的に保護者へ周知することで、学校、家庭が協力して児童の家庭学習の習慣化を図っている。

児童に対しては、どのように家庭学習に取り組めばよいのかを、「○年生の家庭学習」により、継続的に指導している。学年が進むに連れて学習時間が増えていくのはもちろんのこと、担任から指定された課題と自主学習の割合についても児童自らが考え、中学校への接続を意識しながら、実践している。

３年生以上では、「家庭学習・生活表」を活用し、児童自身が自分の家庭学習や生活を振り返るとともに、保護者にも意識してもらえるよう働きかけを行っている。

＜家庭学習の手引き＞

「家庭学習の手引き」

**大切です！家庭学習**

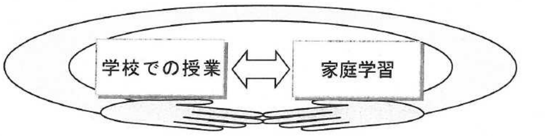
白河市立白河第三小学校

**☆家庭学習は、なぜ大切なのか？**

○　家庭学習は、学校で学んだ内容（知識・技能）をしっかりと身に付ける時間です。
○　家庭学習を充実させることは「分かる喜び」「できる楽しさ」を味わうことにつながります。

**☆学校での授業と、どのようにつながっているのか？**

○　家庭学習で身に付けた知識・技能が次の授業で生かされ、学力が高まっていきます。
○　学校の教員と保護者が同じ思いで取り組むことにより、お子さんの学力を高めることにつながります。




**☆どんなことを心がけて、子どもの家庭学習に向き合えばよいのか？**

ご家庭で心がけていただきたいことを「３箇条」にまとめました。

**お子さんの心に火（意欲）を灯し続ける３箇条**

**その１　整える**（県教委「家庭学習スタンダード」３つの視点『環境づくり』と同内容）
・鉛筆やノートといった**学習用具を整える**。
・「家庭学習をしっかり取り組むぞ」というお子さんの**心を整える**。
・家庭学習前や最中は、テレビや音楽を消して、集中できる**環境を整える**。

**その２　かける**（県教委「家庭学習スタンダード」３つの視点『心の支え』と同内容）
・取り組んでいる姿を「**目をかけて**」見守る。
・努力している姿に「**声をかけて**」ほめる。
・迷っている時には「**手をかけて**」少しだけ一緒に考えたり、アイデアを出してあげたりする。
・家庭学習を見てあげられない時には、ランドセルに入っている取り組んだものを、お子さんの努力した姿を想像しながら「**心をかけて**」確認する。

**その３　続ける**（県教委「家庭学習スタンダード」３つの視点『習慣づくり』と同内容）
・担任から指定された課題がない場合でも、**家庭学習を毎日続ける**。
・３箇条を心がけた保護者の**かかわりを続ける**。

＜学習内容・時間の目安＞

**☆家庭学習に取り組む時間の目安とは？**

**学年×１０～１５分が目標です!!**

| 学年 | 時間 | 内容 |
|---|---|---|
| 1年生 | 10～15分 | 担任から指定された課題／自主学習 |
| 2年生 | 20～30分 | |
| 3年生 | 30～45分 | |
| 4年生 | 40～60分 | |
| 5年生 | 50～75分 | |
| 6年生 | 60～90分 | |

※　学習の時間は、課題・自主学習を合わせた時間です。学年が進むに連れて学習の時間が増えていきます。
※　中学校の学習時間を考えながら、「この学年ではこれくらいが適当」と思う時間を設定しています。中学校では、学年＋１時間と言われています。それだけの勉強は中学校に入ったからといって急にできるものではありません。毎日の積み重ねが大切です。

**【自主学習のアイディア】**

☆　音読が上手にできるようになってきたら、「暗唱」にチャレンジさせてみませんか？（教科書や学年で購入した詩集、音読プリントなどを活用してください。）
☆　すぐ手が届くところに「国語辞典」や「漢和辞典」を置いておくと、辞書の引き方に慣れ、調べることを苦にしなくなります。また、地図帳や地球儀なども、すぐ手の届く場所にあるといいですね。
☆　親子で「読書」や「百マス計算競争」、いかがですか？
☆　本校では、漢字検定試験を受けることができます。年２回（平成３０年度は、７月13日、11月２日）です。**平日の放課後に実施**します。挑戦してみてはいかがでしょうか。
☆　テレビ・ゲームの時間は、平日は１時間以内、お休みの日は２時間以内にとどめるよう指導しています。ご家庭でも約束を決め、時間を有効に使うことができるようにご指導ください。

**学校（担任）と保護者が、同じ思いで取り組むことが大切です!!**

（お困りの際は、担任まで気軽にお声がけください）

＜家庭学習・生活表＞

# 家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

| 取組の特徴 | **「学校生活のしおり」を活用した学習習慣の確立、家庭学習の質的改善、全国学力・学習状況調査問題等の活用** |
|---|---|

白河市立白河中央中学校

【取組の概要】

３年間を通して「学校生活のしおり」を活用し、学習習慣の確立を図っている。また、家庭学習の習慣化から質的改善に向けた様々な取組をうとともに、全国学力・学習状況調査の結果を分析し、自校の課題について共通理解を図り、授業や家庭学習に活用している。

## 1　取組①　共通理解を図り指導しています

### ○　「学校生活のしおり」を活用した学習習慣の確立

新入生に「学校生活のしおり」を配付し、オリエンテーションを実施している。中学校における学習のねらいやそのねらいを達成するためにどのようなことが必要なのか、授業での心構え、家庭学習の仕方など、オリエンテーション実施後も３年間「学校生活のしおり」を基に、各教科において指導を継続している。また、家庭と連携が取れるよう、保護者に対して学年だよりや保護者会などで周知を行っている。継続的に「学校生活のしおり」を活用することで、全教職員が共通理解の基、一貫した指導ができている。

また、小中連携の観点から、学区内の小学校にも「学校生活のしおり」を提供し、小中学校の接続がスムーズになるよう配慮している。

**夢ある者　理想あり**
**理想ある者　目標あり**
**目標ある者　計画あり**
**計画ある者　実行あり**
**実行ある者　成果あり**
**成果ある者　喜びあり**

### 中学校における学習のねらい

生徒の中には「なぜ」「何のために」学習をするのかよくわからない人も少なくないようですが、中学校では次のようなことを基本にすえて、毎日学習していきます。

1　小学校で学習してきたことがらを、より一層充実・発展させます。
2　人間として、よりよい社会生活を営むうえで必要となる基礎的・基本的な知識や技能はもちろん、自ら学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力などを身につけます。
3　人間としての基本的な行動様式を身につけ、自主性、根気強さ、創意工夫、協力性、社会性、責任感、寛容、そして公正な判断力を養います。

上記のようなことがらを学習することにより、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力が育成され、個性を生かす力も伸ばすことができ、将来に向けて人間としての資質を向上させる基礎を築くことができるようになります。

### 各教科に共通する学習上の留意点

*1　「なぜ？」「どうして？」を大切にしよう！*

→　学習はすべて素朴な疑問からスタートします。ひとつの物事をいろいろな角度から見つめ、「？」をどんどん出していきましょう。

*2　「どうすればいいのかな？」を考えよう！*

→　問題を解くにはどのような方法、どのような資料、教材、用具を使って学習に取り組めばいいのか・・・・学習の見通し（作戦）を立てましょう。

*3　「試してみよう」という挑戦の姿勢を持とう！*

→　学習の見通し（作戦）が立ったなら、実際に取り組んでみましょう。

*4　「みんなはどう思うかな？どう考えるかな？」という、他に学ぶ姿勢を持とう！*

→　自分一人での考えでは、行きづまったり、方向を誤ったりしてしまいます。友達の意見や、先生のアドバイスを参考にしてみましょう。

### 国語科学習のすすめ方

**1　ね　ら　い**

「国語」は、あらゆる科目を勉強するうえで、その土台となる教科です。それは「国語」が毎日の生活を営むうえでもっとも大事な「言葉」を通して、思考力・判断力を身につけることを目的としたものだからです。

「国語」の勉強の第一歩は、毎日の生活の中で目にふれたり、耳にしたりする言葉に強い関心をもち、自分で課題をみつけ解決していく力を身につけていくことです。

また、「国語」を通して、自国の伝統や文化を大切にし、外国の文化を尊重する態度を養います。

自分の目や耳で、身のまわりの「国語」に心を配るようにしましょう。

**2　ねらいを達成するために**

（１）　できるだけ本や新聞を読み、読めない漢字は辞書で調べ、読み方や意味を覚えましょう。
（２）　テレビ・周囲の人たちの話し言葉に常に気を配り、正しい日本語を使いましょう。
（３）　図書室を積極的に活用し、読書の幅を広げ、授業で疑問に思ったことなども調べる習慣を身につけましょう。

### 数学科学習のすすめ方

**3　授業への取り組み方**

（１）本時の学習課題をつかむ。
何を勉強するのか、この時間で学習することをつかみましょう。
（２）課題を解決するための方法を考える。
今まで学習してきたことや先生の説明、友達の考えを聞きながら課題を解決する方法を考えましょう。
（３）課題の解決・強化・定着
課題を解決したら確認し、別な方法があるかを考えましょう。数学的な考え方や処理の仕方、知識をより確実なものにするため問題練習をしましょう。

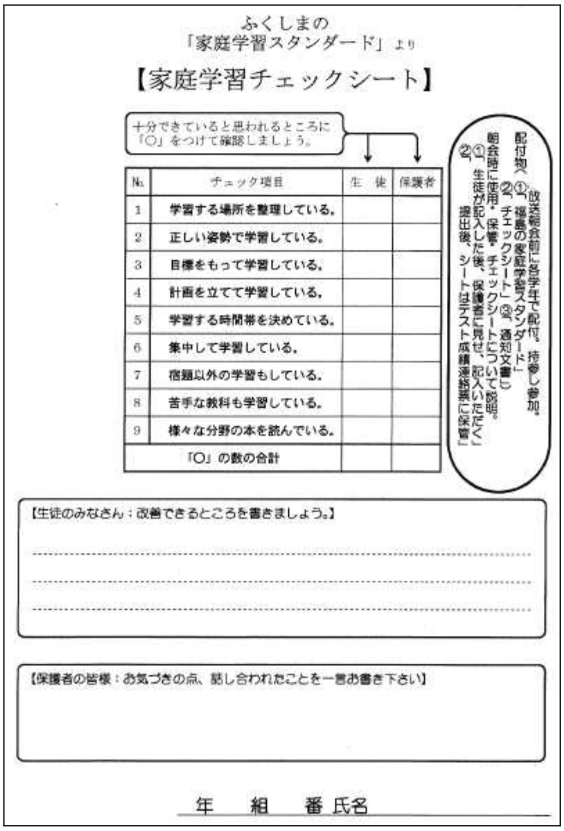
**4　家庭学習のしかた**

（１）復習
①教科書やノートなどで、今日の学習内容を確認しましょう。
②大切な点、むずかしかった箇所、できなかった問題をはっきりさせ、もう一度問題に取り組みましょう。
③問題の解き方や考え方を確かめ、授業で行った問題だけでなく、問題集などで十分練習しましょう。（「ワークブック・週末課題」などを活用）
④疑問な点は次の時間に質問できるようにしておきましょう。
（２）予習
①教科書にひととおり目を通して、次の時間の内容を調べましょう。
②それまでの学習内容とのつながりを教科書、ノートで調べ、わかるところ、わからないところを区別していきましょう。

## ２　取組②　内容・方法を指導しています

### （１）家庭学習の習慣化から質的改善に向けた取組

各学年、各学級の自主学習ノートの提出率を週単位で調査している。校内で実施しているアンケート調査結果からも、ほぼすべての生徒に家庭学習の習慣が身に付いていることがうかがえる。そこで、「家庭学習の質的改善」を掲げ、「家庭学習スタンダード」の視点を基に家庭学習チェックシートを作成している。生徒自身に家庭学習の自己評価をさせ、改善に向けた手立てを考えさせるとともに、保護者にもコメントをもらい、家庭の協力を得られるように工夫している。さらに、各学級において、工夫された自主学習ノートを「自学王」として紹介する取組も継続的に行っている。



ふくしまの
「家庭学習スタンダード」より
【家庭学習チェックシート】

十分できていると思われるところに「○」をつけて確認しましょう。

| No. | チェック項目 | 生徒 | 保護者 |
|---|---|---|---|
| 1 | 学習する場所を整理している。 | | |
| 2 | 正しい姿勢で学習している。 | | |
| 3 | 目標をもって学習している。 | | |
| 4 | 計画を立てて学習している。 | | |
| 5 | 学習する時間帯を決めている。 | | |
| 6 | 集中して学習している。 | | |
| 7 | 宿題以外の学習もしている。 | | |
| 8 | 苦手な教科も学習している。 | | |
| 9 | 様々な分野の本を読んでいる。 | | |
| | 「○」の数の合計 | | |

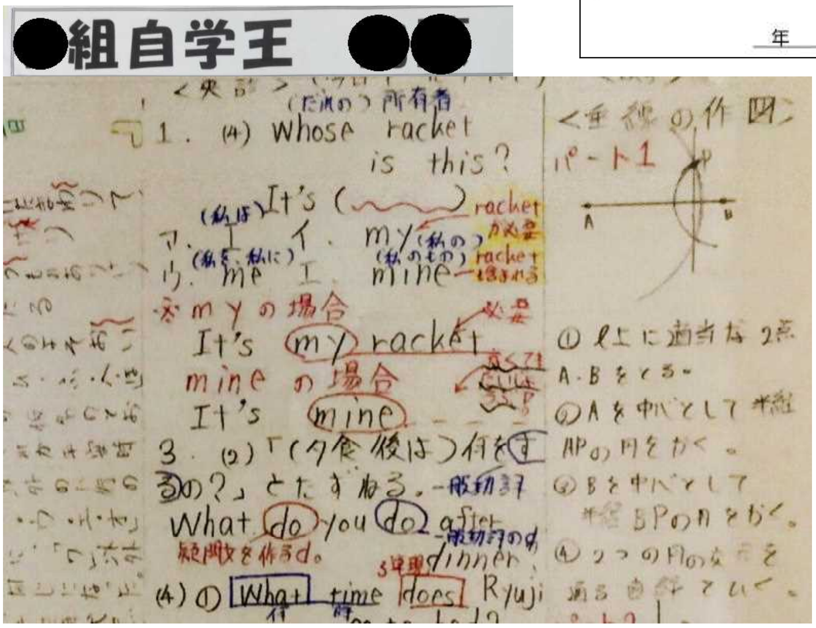
配付物（放送朝会前に各学年で配付、持参し参加。
①「福島の家庭学習スタンダード」
②「チェックシート」③「通知文書」）
朝会時に使用・保管・チェックシートについて説明。
①「生徒が記入した後、保護者に見せ、記入いただく」
②「提出後、シートはテスト成績連絡票に保管」

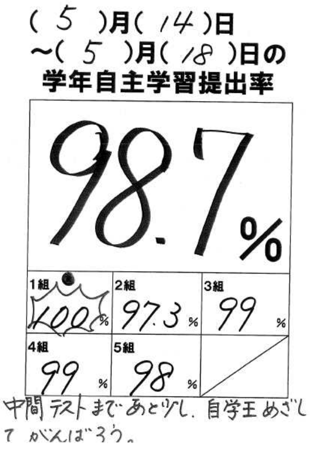
【生徒のみなさん：改善できるところを書きましょう。】

【保護者の皆様：お気づきの点、話し合われたことを一言お書き下さい】

年　組　番 氏名

＜「自学王」に選ばれた自主学習ノート＞




### （２）全国学力・学習状況調査問題等の活用

全国学力・学習状況調査実施後、すぐに自己採点させることで、生徒自身が課題を意識できるようにしている。教員も教科部会で採点を行い、どのような問題が出題されていて、生徒にどのような力を身に付けさせればよいのか共通理解を図り、学習指導に生かしている。さらに、過去の全国学力・学習状況調査問題や高校入試問題を小問ごとに各学年に振り分け、定期テストや授業、家庭学習などで活用している。

# 家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

| 取組の特徴 | **「１２年間をつなぐ家庭学習」と「自主学習の内容の工夫」** |
|---|---|

会津坂下町立坂下南小学校

【取組の概要】

町内１中学校、２小学校、２幼稚園が望ましい生活習慣づくりについて共有を図っている。また、家庭と連携した家庭学習の習慣づくりの取組がなされている。

## １　取組①　協力・連絡体制を築きます

### （１）１２年間をつなぐ家庭学習

会津坂下町では、「子育て支援日本一を目指した『一つの学園構想』」のもと、町内の幼稚園、小学校、中学校が“一貫性”“共通性”“継続性”で「育ち」と「学び」をつないでいる。

発達段階に応じて、家庭学習の内容を例示し、さらに保護者の役割の例も示すことで、学校と家庭が連携して家庭学習の習慣づくりに取り組んでいる。

また、幼稚園においても小学校との接続を意識した家庭学習の在り方を保護者と共有し、保護者の関わり方の例を示すなど、１２年間を見通した一貫性のある取組がなされている。

保存版：幼稚園から中学校まで使用します。見える場所に貼るなどしてご活用ください。

※平成 28 年度より幼稚園 3 年保育開始

**ばんげっ子の家庭学習**～11（12）年間※をつなぐ家庭学習の内容例～　会津坂下町基礎学力向上推進会議　会津坂下町教育委員会

| 学年［学習時間］ | 内容（例） | 保護者の役割（例） |
|---|---|---|
| ＜小学生＞<br>学年×10分＋10分<br>＜中学生＞<br>1年→7年、2年→8年、3年→9年<br>1年：学年×10分+20分<br>2年：学年×10分+40分<br>3年：学年×10分+90分 | ◇「学校の宿題◎」を最優先として取り組み、それが済んだら「○の項目」を参考に取り組んでみましょう。<br>◇　小学校は「家庭学習の手引き」、中学校は「学習の手引き」を基本として、自分でも工夫しながら取り組んで見ましょう。<br>［　　］内は、国語科、算数・数学科、英語科の各学年で身に付けておきたい力の一部です | **学習する環境を作りましょう**<br>○　学習は決まった場所で<br>○　学習する時間を決める<br>○　テレビを消す |
| 幼稚園 | ○　一緒に遊ぶ<br>○　本を一緒に読む<br>○　読み聞かせをする<br>○　お手伝いをさせる<br>○　基本的生活習慣の習得<br>○　早寝・早起き・朝ごはん<br>○　後片付けをさせる | **ふれあいを深める時期 がまんの心を育てる時期**<br>・　テレビ・ビデオ・ゲーム等の時間を短くし、スキンシップを図りましょう。<br>・　話をじっくり聞いてあげましょう。また、1日15分程度、テーブル等で一緒に絵本を読む等の時間を作りましょう。 |
| 小学１・２年<br>1年生　20分以上<br>2年生　30分以上 | ◎宿題　○音読　○読書　○日記や作文（順番を考えて）<br>○漢字・計算練習等<br>【1年生】<br>○　鉛筆を正しく持って字が書ける　○　時計が読める<br>○　ひらがな・カタカナが読めて書ける<br>○　80 字の配当漢字が読めて書ける<br>○　「を」「は」「へ」を正しく使える<br>○　たし算・ひき算ができる<br>【2年生】<br>○　160 字の配当漢字が読めて書ける<br>○　組み立てを考え、順序よく書ける<br>○　かけ算九九がすらすら言える<br>○　筆算で計算ができる<br>○　かさの単位が使える<br>○　ものさしを使って線が引ける・長さが測れる<br>○　簡単な表やグラフを使って表したり読み取ったりできる | **一緒に学習してやる気をおこさせる時期**<br>・　「起きる・寝る時間」と同様に「学習の時間」を決め、家でも勉強する習慣をつけましょう。<br>・　学校からの連絡やお便りを一緒に確かめましょう。<br>・　「背筋を伸ばす」など正しい姿勢で学習する習慣をつけましょう。<br>・　正しい鉛筆持ち方に注意させましょう。 |
| 小学３・４年<br>3年生　40分以上<br>4年生　50分以上 | ◎宿題　○音読　○読書　○日記や作文（中心をおさえて）<br>○漢字・計算練習等<br>【3年生】<br>○　200 字の配当漢字が読めて書ける<br>○　文と文、段落と段落の続き方を考えて書ける<br>○　文章を読み、要点をまとめることができる<br>○　ローマ字の読み書きができる<br>○　かけ算の筆算ができる<br>○　わり算ができる<br>○　長さ・重さ等の単位が使える<br>○　小数・分数のたし算・ひき算ができる　○　コンパスが正しく使える<br>【4年生】<br>○　200 字の配当漢字が読めてかける<br>○　文と文をつなぐ言葉を適切に使って書ける<br>○　国語辞典・漢和（漢字）辞典が使える<br>○　分度器が正しく使える　○　わり算の筆算ができる<br>○　四捨五入して数を概数にできる | **認めてほめて自信をつけさせる時期**<br>・　まず、学校の宿題、そして好きなものを進んで学習する習慣をつけましょう。<br>・　辞書や地図、新聞などを身近に置いて活用する習慣を身につけさせましょう。<br>・　分からないところは、ヒントを与えたり、アドバイスをしたりして一緒に考えましょう。 |
| 小学５・６年<br>5年生　60分以上<br>6年生　70分以上 | ◎宿題　○読書　○日記や作文（自分の考えを明確にして）　○新聞に親しむ<br>○自主学習（授業の予習・復習等）　○国語辞典や漢和辞典を使っての学習　○漢字・計算練習等<br>【5年生】<br>○　185 字の配当漢字が読めて書ける<br>○　文章全体の構成を考えて書ける<br>○　小数のかけ算・わり算ができる<br>○　分母が違う分数のたし算・ひき算、かける数が整数の場合の分数のかけ算・わり算ができる<br>○　公式を使っていろいろな図形の面積や立方体や直方体の体積が求められる<br>○　割合・百分率を使った問題が解ける<br>【6年生】<br>○　小学校で習得すべき漢字全部（1,006 字）が読めて書ける（6年生の配当漢字は 181 字）<br>○　目的に応じ、考えたことを構成を考えて書ける<br>○　分数のかけ算・わり算ができる<br>○　公式を使って円の面積や角柱・円柱の体積が求められる<br>○　速さ・時間・長さを求めることができる<br>○　比や比例が分かり、文字を使って式に表すことができる | **見守って、伸ばす時期**<br>・　宿題、そして授業の復習を中心に、計画を立てて学習を進めるよう見守りましょう。<br>・　将来の夢や希望に関心を持って声をかけましょう。<br>・　ちょっとした頑張りでもほめ、「やればできる」という気持ちを持たせましょう。<br>・　新聞やニュースの内容を話題にするなど、社会の動きにも興味・関心を持たせましょう。 |
| 中学生<br>1年生　90分以上<br>2年生　120分以上<br>3年生　180分以上 | ◎宿題　○読書　○自主学習　○新聞を読む<br>・復習（その日学習した内容を教科書やノートで確認、ワークをやる等）<br>・予習（教科書の通読、重要語句や英単語の意味調べ等）<br>○定期テストに向けての計画的な学習<br>○漢字・計算・英単語練習等<br>【1年生】<br>○　小学校で学習した漢字 1,006 字に加え、その他の常用漢字のうち 250 ～ 300 字程度読める 1,006 字のうち 900 字程度書ける<br>○　正の数・負の数の計算、文字式・方程式を解くことができる<br>○　基本的な単語・文章が読める、書ける<br>【2年生】<br>○　1年生で学習した常用漢字に加えてその他の常用漢字のうち 300 ～ 350 字程度読める<br>○　連立方程式を解くことができる<br>○　1年生で学習した内容に加え、2年生で学習した基本的な単語・文章が読める、書ける<br>【3年生】<br>○　2年生までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のほとんどが読める<br>○　わからないところ・問題等を先生に聞いて理解したり、苦手なところを繰り返し練習してできるようになったりする<br>○　中学校で学習した基本的な単語・文章が読める、書ける | **よく話を聞き、生涯学習の大切さに気付かせる時期**<br>・　自主的な学習習慣を確立できるよう励ましましょう。<br>・　あまり注文をつけず、自由な時間も大切に認めましょう。<br>・　日頃から、ちょっとした言動で「いつも関心を持っているよ」というメッセージを伝えながら、適度な距離感を持って関わりましょう。<br>・　職業観、進路、将来の生き方について話し合いましょう。<br>・　部活等で忙しい時期ですが、多様な経験をさせる意味でも、地域行事等に参加するきっかけをつくってあげましょう。 |

家庭学習は、かばんの中の点検から【家の人に渡すプリント類が入ったままになっていないか　次の日の持ち物が全てそろっているか　連絡ノート等で最後にもう一度確認】

ノーテレビ・ノーゲームタイムへの取組

子どもたちの意識向上や教育環境の醸成が見られます。

小学校と幼稚園の連携授業が多く、小学生の子どもたちの思いやりの気持ちや、年下の子にいろいろ教えてあげなくてはならないという気持ちが育っているように感じます。

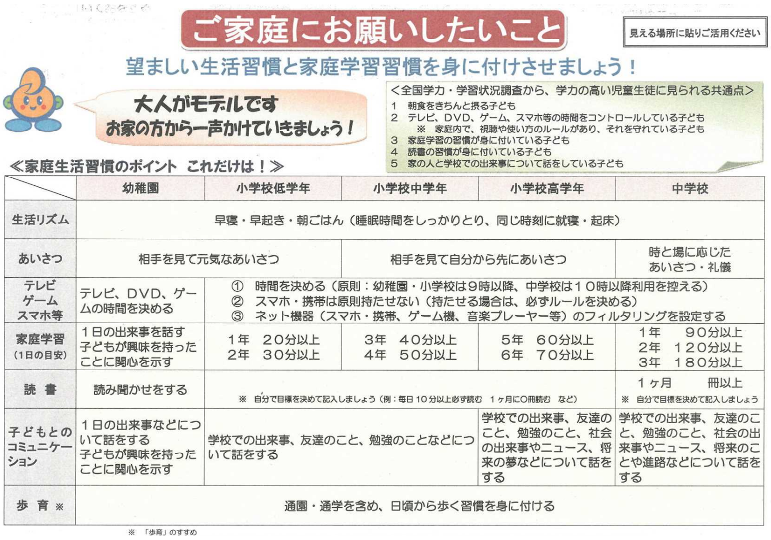
中学校においては、小学校からの学習習慣を継続発展できるような「学習の手引き」に沿って取り組んでいくことができるので、学習意欲の向上も見られています。また、小学校から励んできた部活を継続できる指導環境も整っているので、ぐんぐん上達しています。

【町広報より　保護者からの御意見】

## （２）生活習慣・家庭学習習慣の涵養

毎年、家庭学習の習慣づくりとともに、望ましい生活習慣づくりについても積極的に取り組んでいる。

特に、メディアコントロール、子どもとのコミュニケーションに力を入れており、各家庭にも浸透してきている。



ご家庭にお願いしたいこと

見える場所に貼りご活用ください

望ましい生活習慣と家庭学習習慣を身に付けさせましょう！

大人がモデルです
お家の方から一声かけていきましょう！

<全国学力・学習状況調査から、学力の高い児童生徒に見られる共通点>
1　朝食をきちんと摂る子ども
2　テレビ、DVD、ゲーム、スマホ等の時間をコントロールしている子ども
　※　家庭内で、視聴や使い方のルールがあり、それを守れている子ども
3　家庭学習の習慣が身に付いている子ども
4　読書の習慣が身に付いている子ども
5　家の人と学校での出来事について話をしている子ども

≪家庭生活習慣のポイント　これだけは！≫

| | 幼稚園 | 小学校低学年 | 小学校中学年 | 小学校高学年 | 中学校 |
|---|---|---|---|---|---|
| 生活リズム | 早寝・早起き・朝ごはん（睡眠時間をしっかりとり、同じ時刻に就寝・起床） | | | | |
| あいさつ | 相手を見て元気なあいさつ | | 相手を見て自分から先にあいさつ | | 時と場に応じたあいさつ・礼儀 |
| テレビ ゲーム スマホ等 | テレビ、DVD、ゲームの時間を決める | ①　時間を決める（原則：幼稚園・小学校は９時以降、中学校は１０時以降利用を控える）<br>②　スマホ・携帯は原則持たせない（持たせる場合は、必ずルールを決める）<br>③　ネット機器（スマホ・携帯、ゲーム機、音楽プレーヤー等）のフィルタリングを設定する | | | |
| 家庭学習（1日の目安） | １日の出来事を話す<br>子どもが興味を持ったことに関心を示す | １年　２０分以上<br>２年　３０分以上 | ３年　４０分以上<br>４年　５０分以上 | ５年　６０分以上<br>６年　７０分以上 | １年　９０分以上<br>２年　１２０分以上<br>３年　１８０分以上 |
| 読　書 | 読み聞かせをする | ※　自分で目標を決めて記入しましょう（例：毎日 10 分以上必ず読む　１ヶ月に○冊読む　など） | | | １ヶ月　　冊以上<br>※　自分で目標を決めて記入しましょう |
| 子どもとのコミュニケーション | １日の出来事などについて話をする<br>子どもが興味を持ったことに関心を示す | 学校での出来事、友達のこと、勉強のことなどについて話をする | | 学校での出来事、友達のこと、勉強のこと、社会の出来事やニュース、将来の夢などについて話をする | 学校での出来事、友達のこと、勉強のこと、社会の出来事やニュース、将来のことや進路などについて話をする |
| 歩　育 ※ | 通園・通学を含め、日頃から歩く習慣を身に付ける | | | | |

※　「歩育」のすすめ

## ２　取組②　内容・方法を指導します

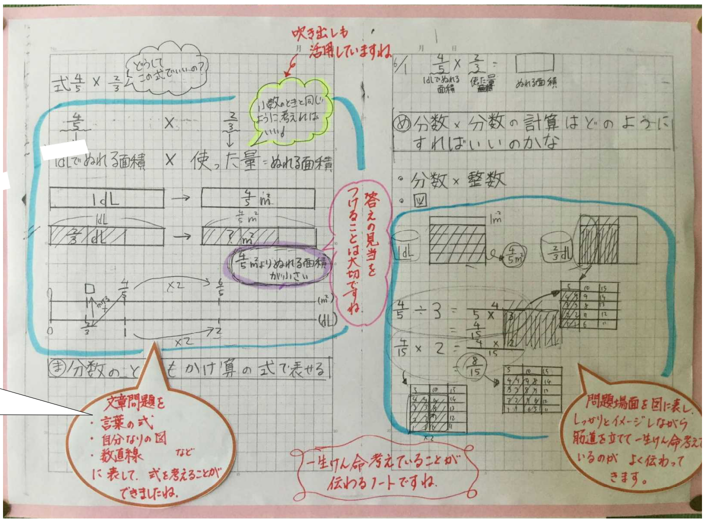
### （１）自主学習の内容の工夫

町から示された家庭学習の例を基に、各学年で家庭学習の実施状況を確認する場をもっている。学校の取組を保護者会やお便りを通じて家庭と共有し、家庭学習の内容・方法について共通理解のもと指導を行っている。自主学習の内容については、漢字や計算練習などとともに、上学年では、定着確認シートや全国学力・学習状況調査問題にも取り組んでいる。

| 学年 | 家庭学習の実施状況（方法・内容等） |
|---|---|
| １年 | ・プリント（ひらがな・読み取り・計算など）<br>・音読（国語の教科書　今学習しているところ）<br>・計算カード（７月から） |
| ２年 | ・音読（国語の教科書、読書も含む）<br>・プリント（国語・算数形成プリント、印刷したもの）<br>・漢字の学習（ノート１ｐ以上）自主学習（ノート１ｐ以上） |
| ３年 | ・プリント（国語・算数の形成）<br>・音読　・漢字練習　・自主学習 |
| ４年 | ・漢字計算ドリル<br>・プリントによる復習を中心の宿題<br>・自主学習１ページ<br>・週末作文　　（１日５０分以上の家庭学習） |
| ５年 | ・音読　・ドリル（漢字・計算）　・形成プリント（国語・算数）<br>・算数の力　・算数プリント　・自主学習、プリント等<br>（１日６０分以上） |
| ６年 | ・音読　・形成プリント（国語・算数）　・漢字、計算スキル<br>・繰り返し計算ドリル　・読書　・作文等　（１日７０分以上の家庭学習） |

### （２）ノートコンクールの実施

授業のノートや自主学習ノートのコンクールを実施し、表彰されたノートは廊下に掲示している。また、高学年では、これまでの自主学習ノートをロッカーに並べ、互いに見合うことにより家庭学習への意欲を高めている。




よいところや工夫しているところを称賛し、意欲付けを図っている。

# 家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

| 取組の特徴 | **「自己マネジメント力を育む取組」と「授業と家庭学習をつなぐ手立て」** |
|---|---|

猪苗代町立吾妻中学校

【取組の概要】

生徒たちの「自己マネジメント力」を育成すべく、「絆ノート」の活用、コース選択制によるノーメディアデーの取組を行っている。また、家庭学習と個別指導、家庭学習と授業の関連を図った実践を積み重ねている。

## 1　取組①　内容・方法を指導しています

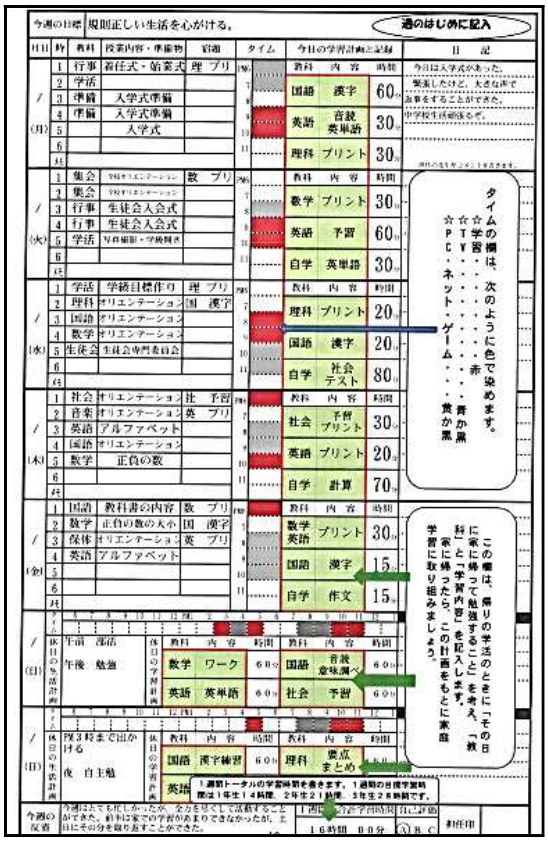
### （１）自己マネジメント力を育む取組

#### ①　「絆ノート」の活用

学校生活と家庭生活ともによりよいものを目指していくために、日々の生活記録や学習計画を記入する「絆ノート」を独自に作成し、活用している。

今年度は、学校の課題である「メディア時間の多さ」の改善を図るために、メディアに触れる時間や生活時間の使い方も書き込めるように仕様を改めた。

教育相談（学習相談）時には、「絆ノート」を各教科担任が確認し、各個人の家庭学習の状況やこれからの改善策を具体的にアドバイスしている。




#### ②　ノーメディアデー

基本的に、毎週木曜日に実施。水曜日に次の日自分が実施するコースを決め、一覧表に自己申告をする形で実施している。

完全なノーメディアとするのではなく、生徒の実態に応じて自己申告する形なので、メディアとのつきあい方を自ら考えることになるとともに、無理なく取り組める。時間を大切に使うことの大切さ、ゲームのやり過ぎが脳に与える影響などを考えて、自分の生活をよりよく管理し、実践する力をつけさせる効果的な取組である。

2　具体的取り組み

① 毎週水曜日に次の日自分が実施するコースを決め、昇降口前掲示板の一覧表に自己申告コースを記入する。

② コースは以下の４つにする。

SSコース・・・その日一日はメディア接触（テレビ、ゲーム、パソコン等）を一切しない＆何をして過ごすか（読書、自主学習、家族との対話、手伝いなど）を決めて過ごすコース

Sコース・・・その日一日はメディア接触（テレビ、ゲーム、パソコン等）を一切しないコース

Aコース・・・１日メディア接触（テレビ、ゲーム、パソコン等）時間を１時間以内に制限するコース

Bコース・・・１日メディア接触（テレビ、ゲーム、パソコン等）時間を２時間以内に制限するコース

③ 毎週金曜日に自己申告したコースの脇にノーメディアシールをはる。

④ 昇降口前掲示板の一覧表の確認を担任が行う。

### （２）脳科学からのアプローチ

★　効果のある繰り返し方

繰り返す方法にも、効果のあるやり方とそうでないやり方があります。

効果のある方法を使えば、繰り返す回数が少なくてすみます。どうすればいいのかというと「五感を使って覚える」のです。つまり、目・耳・口・手など多くの感覚を使ったときの方が覚えやすいのです。その中でも特に脳と関係が深いのは、耳・舌・指といった部分です。

目で見るだけでなく、手を使って書いたり、声に出して読んだりした方が覚えられるのはそのためです。

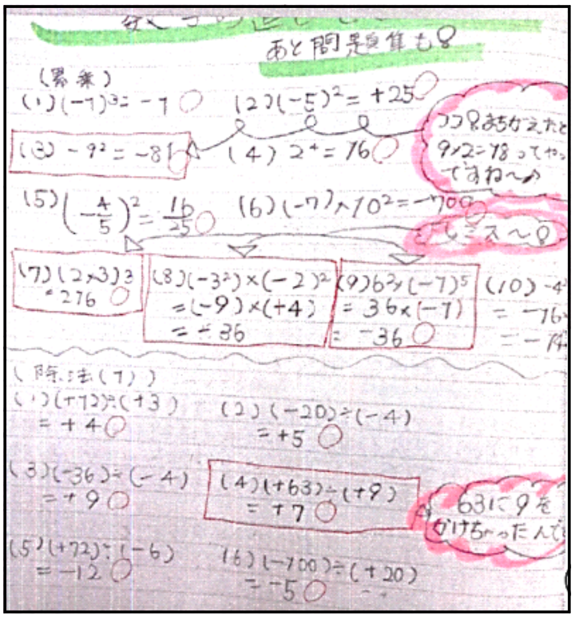
「学習の手引き」の全体版に、脳科学に基づく効果的な学習の仕方を紹介。

「五感を使って覚えると効果的」、「１ヶ月に４回は繰り返すと効率よく復習できる」、「覚えたことを人（自分）に説明して記憶する」など、家庭学習に役立つ情報を掲載し、科学的な意味付けを行った上で指導に当たっており、学習集会で全校生向けに指導もしている。

### （３）定期テスト前質問学習会の実施

定期テスト５日前に２回の質問学習会を実施。普段の授業や、前日の家庭学習でわからなかったことを教科担当の先生等に質問したり、生徒同士で教え合ったりする機会を設けている。

日頃、質問したいと思っていても遠慮して聞けない生徒も多く、そのような生徒にとっては大変貴重な機会となり、満足度も高く、かつ、教師と生徒の距離が近くなったと感じる生徒も多い。また、質問して学習した内容を日頃の学習に生かそうと取り組んでいる生徒の姿が見られた。（自主学習ノート、まちがい直しノート等の作成など）




## ２　取組②　授業と家庭学習をつなげています

### ○　授業と家庭学習をつなぐ手立て

各教科において、次時の授業につながる家庭学習を意識し、以下のように手立てを講じている。これらの実践により、次時の授業の取組がスムーズになり、進んで問題解決をする生徒の姿など、学習に意欲的に取り組み、学習内容を理解しようとする積極的な姿が見られた。

| 教科 | 【手立て③】の概要 |
|---|---|
| 国語科 | ○　次時の学習につながるような宿題の出し方に努める |
| 社会科 | ○　生徒全員に，次時の学習内容の要点をまとめる予習を課し，生徒の自主学習を促す取り組みを行う。<br>○　授業終末時に次時の学習課題を設定し，次の授業で予習してきたことが授業で役立った，分かった，疑問が解決したという達成感を持たせる。 |
| 数学科 | ○　家庭学習の方法を示す。（ワークの活用方法，予習・復習のあり方）<br>○　次時の学習につながるような宿題の出し方に努める。<br>○　宿題の添削や小テストを実施することで，力が向上してきたことを実感できるようにする。 |
| 理科 | ○　授業の学主内容と家庭の学習内容を関連付ける。<br>○　宿題の点検と添削・評価を行う。 |
| 英語科 | ○　事前テストと事後テストを実施し，それをもとに学習計画を立て，家庭学習で予習・復習で取り組むなどの工夫をさせる。<br>○　授業と結び付いた内容の家庭学習を提示し，学習してきてよかったと思えるようにする。 |
| 保健体育 | ○　自分の記録の伸長や努力の成果が実感できるようにデータを蓄積して提示する。生徒の成長や努力を見取り，喜びを共有することで，さらなる取り組みにつなげる。 |

# 家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

| 取組の特徴 | **「家庭学習計画タイム」と「家庭学習カード」を活用した自己マネジメント力の育成** |
|---|---|

只見町立只見小学校

【取組の概要】

日課表の中に毎日１５分間の「家庭学習計画タイム」を設定し、児童自らが「Research（自分を知る）」、「Plan（計画する）」できるように支援している。また、「家庭学習カード」を活用し、「Cheak（確かめる）」、「Action（見直す）」できるようにも支援している。教育活動全体を通して「R-PDCA サイクル」を意識できるようにして「自己マネジメント力」の育成に取り組んでいる。

## １　取組①　内容・方法を指導しています

### （１）日課表の中に「家庭学習計画タイム」を設定

５校時終了後の１５分間、児童が家庭学習の具体的な計画を立てる「家庭学習計画タイム」を設定している。校内行事等があり、設定している時間帯に実施できない場合でも、朝の活動の時間に実施するなど、時間を調整して取り組んでいる。

学級担任を中心に、管理職や学級担任外も加わり、計画が立てられない児童には、計算や漢字の学習など、取り組みやすい内容を紹介している。また、学習の量や難易度が児童の力に合っているか、必要に応じて助言を行っている。

継続して取り組むことによって、家庭学習への意欲を高めるとともに，見通しをもち進んで家庭学習に取り組むことができるようになってきている。

今後は、家庭学習を授業と連動させることよって学習効果を高め、基礎的・基本的な学習内容が確実に身に付くように工夫していく。

［家庭学習計画タイム］

平成30年度　只見小学校日課表(通常時程)

| 時刻 | 月曜日 | 火曜日・水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|---|---|---|---|---|
| ～8:00 | 登校 | 登校 | 登校 | 登校 |
| 8:00～8:10 | 全校集会 児童集会（8:00～8:15） | 読書タイム | 読書タイム | 読書タイム |
| 8:10～8:20 | | ドリルタイム | ドリルタイム | ドリルタイム |
| 8:20～8:30 | 学級朝の会 | 学級朝の会 | 学級朝の会 | 学級朝の会 |
| 8:30～9:15 | 第1校時 | 第1校時 | 第1校時 | 第1校時 |
| 9:20～10:05 | 第2校時 | 第2校時 | 第2校時 | 第2校時 |
| 10:05～10:15 | マラソン(冬：縄跳び) | マラソン(冬：縄跳び) | マラソン(冬：縄跳び) | マラソン(冬：縄跳び) |
| 10:15～10:30 | 自由遊び | 自由遊び | 自由遊び | 自由遊び |
| 10:35～11:20 | 第3校時 | 第3校時 | 第3校時 | 第3校時 |
| 11:25～12:10 | 第4校時 | 第4校時 | 第4校時 | 第4校時 |
| 12:15～13:00 | 給食 | 給食 | 給食 | 給食 |
| 13:00～13:45 | 昼休み 職員休憩 | 昼休み 職員休憩 | 昼休み 職員休憩 | 昼休み 職員休憩 |
| 13:45～14:00 | 清掃 | 清掃 | 清掃 | 13:45～14:30 第5校時 ／ 第5校時（授業参観） |
| 14:05～14:50 | 第5校時 | 第5校時 | 第5校時 | 14:30～14:45 家庭学習計画タイム ／ 帰りの会<br>14:45～14:55 帰りの会 ／ 一斉下校SB14:45<br>14:55～15:05 一斉下校SB15:05 |
| 14:50～15:05 | 家庭学習計画タイム | 家庭学習計画タイム | 家庭学習計画タイム | |
| 15:05～15:15 | 帰りの会 | 帰りの会 | 帰りの会 | 15:05～16:15 現職教育 諸会議等 ／ 保護者懇談会等 |
| 15:15～16:00 | 第6校時 | 第6校時 | 第6校時 委員会 | |
| 16:00～16:15 | 下校SB 15:25 16:15 | 下校SB 15:25 16:15 | クラブ活動 60分 モジュール | |
| 16:15～16:30 | | | | |

短縮時程

| 時刻 | 短縮5校時 |
|---|---|
| ～8:00 | 登校 |
| 8:00～8:10 | 学級朝の会 |
| 8:10～8:55 | 第1校時 |
| 9:00～9:45 | 第2校時 |
| 9:50～10:35 | 第3校時 |
| 10:45～11:30 | 第4校時 |
| 11:35～12:20 | 第5校時 |
| 12:25～13:10 | 給食 |
| 13:10～13:25 | 家庭学習計画タイム |
| 13:25～13:35 | 帰りの会 |
| 13:35～13:45 | 一斉下校SB13:40 |
| 13:45～14:30 | 職員休憩 |
| 14:30～16:15 | 職員会議 諸会議等 |
| 16:15～16:30 | 教材研究等 |

特別時程

| 時刻 | 特別時程 |
|---|---|
| ～8:00 | 登校 |
| 8:00～8:10 | 学級朝の会 |
| 8:10～8:55 | 第1校時 |
| 9:00～9:45 | 第2校時 |
| 9:50～10:35 | 集会活動等 |
| 10:40～11:25 | 第3校時 |
| 11:30～12:15 | 第4校時 |
| 12:20～13:05 | 給食 |
| 13:05～13:50 | 昼休み 職員休憩 |
| 13:50～14:35 | 第5校時 |
| 14:35～14:50 | 家庭学習計画タイム |
| 14:50～15:00 | 帰りの会 |
| 15:00～15:45 | 第6校時 |
| 15:45～16:15 | 下校SB 15:15 16:00 |
| 16:15～16:30 | 教材研究等 |

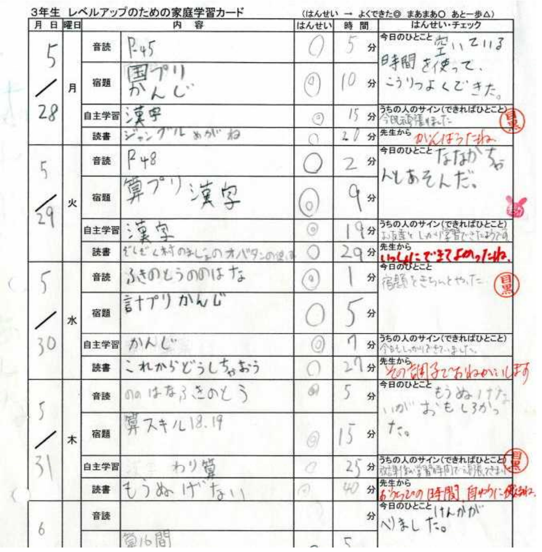
※職員休憩：通常時程の場合12:50～13:35，短縮時程の場合13:45～14:30，特別時程の場合13:05～13:50

### （２）「家庭学習カード」による振り返り

各学年で「家庭学習カード」を活用し、「家庭学習計画タイム」で立てた計画について振り返りを行っている。各学年で使用する「家庭学習カード」は、全学年共通で設ける項目（宿題と自主学習の内容、音読する箇所、読む本の題名、学習時間、保護者のチェック欄）と、各学年の実態に応じて設ける項目から構成されている。

４学年は、保護者と担任がコメントを書くことで意欲付けを行っている。また、６学年は、学習に取り組んだ時刻も記録するようにし、決まった時刻に家庭学習を始める習慣づくりを行っている。

［４学年の「家庭学習カード」］



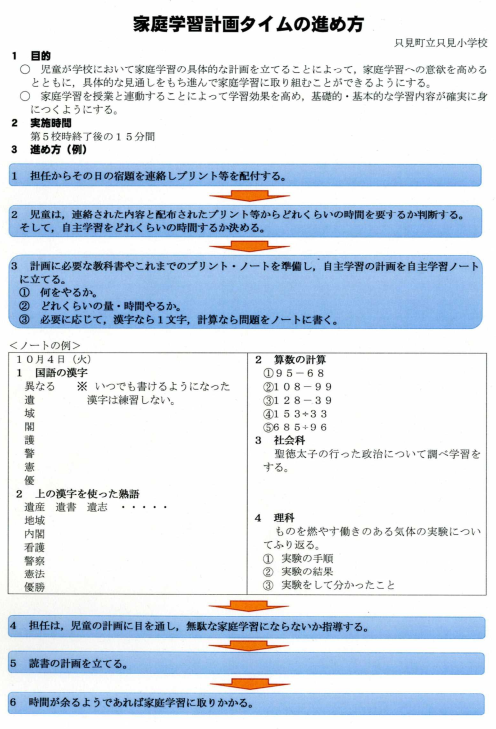

［６学年の「家庭学習カード」］

## 2 取組② 協力・連携体制を築いています

### ○ 家庭学習充実のための校内体制の確立

定期的に学力向上対策委員会を開催し、家庭学習計画タイムの進め方について共通理解を図っている。

第１回は、家庭学習スタンダードの概要やねらいの確認を行った。教職員の転出入があったことから、昨年度リーフレットを配付した際に各家庭にお願いしたことについて、教職員全体で共通理解を図った。また、家庭学習計画タイムの進め方について、右の資料を用いて全体で確認し、各学年同一歩調で家庭学習充実のために取り組んでいる。第２回は、各学年の取り組み状況や課題になっていることなどを共有し、より充実させるための手立てについて話し合いを行った。



**家庭学習計画タイムの進め方**

只見町立只見小学校

**1 目的**

○ 児童が学校において家庭学習の具体的な計画を立てることによって，家庭学習への意欲を高めるとともに，具体的な見通しをもち進んで家庭学習に取り組むことができるようにする。

○ 家庭学習を授業と連動することによって学習効果を高め，基礎的・基本的な学習内容が確実に身につくようにする。

**2 実施時間**

第５校時終了後の１５分間

**3 進め方（例）**

1 担任からその日の宿題を連絡しプリント等を配付する。

2 児童は，連絡された内容と配布されたプリント等からどれくらいの時間を要するか判断する。そして，自主学習をどれくらいの時間するか決める。

3 計画に必要な教科書やこれまでのプリント・ノートを準備し，自主学習の計画を自主学習ノートに立てる。
① 何をやるか。
② どれくらいの量・時間やるか。
③ 必要に応じて，漢字なら１文字，計算なら問題をノートに書く。

<ノートの例>

| | |
|---|---|
| １０月４日（火）<br>**1 国語の漢字**<br>異なる ※ いつでも書けるようになった漢字は練習しない。<br>遺<br>域<br>閣<br>護<br>警<br>憲<br>優<br>**2 上の漢字を使った熟語**<br>遺産 遺書 遺志 ・・・・・<br>地域<br>内閣<br>看護<br>警察<br>憲法<br>優勝 | **2 算数の計算**<br>①９５－６８<br>②１０８－９９<br>③１２８－３９<br>④１５３÷３３<br>⑤６８５÷９６<br>**3 社会科**<br>聖徳太子の行った政治について調べ学習をする。<br>**4 理科**<br>ものを燃やす働きのある気体の実験についてふり返る。<br>① 実験の手順<br>② 実験の結果<br>③ 実験をして分かったこと |

4 担任は，児童の計画に目を通し，無駄な家庭学習にならないか指導する。

5 読書の計画を立てる。

6 時間が余るようであれば家庭学習に取りかかる。

# 家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

| 取組の特徴 | **授業と家庭学習をつなぐ「家庭学習９０プラン」と生徒会の取組** |
|---|---|

南会津町立南会津中学校

【取組の概要】

授業と家庭学習をつなぐために、学校の実態を踏まえた「９０分」という時間の有効活用を意識させる「家庭学習９０プラン」に取り組んでいる。また、生徒自らも家庭学習の充実に向けて様々な取組を行っている。

## 1　取組①　授業と家庭学習をつないでいます

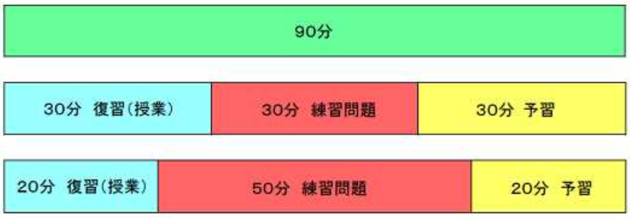
### ○　授業と家庭学習をつなぐ「家庭学習９０プラン」の実施

授業と家庭学習のサイクルを意識できるように、教育活動全体で「家庭学習９０プラン」に取り組んでいる。学校の統合に伴い、１時間以上かけて登下校している生徒もいる実態を踏まえ、「９０プラン」をもとに時間の有効な使い方について指導を行っている。

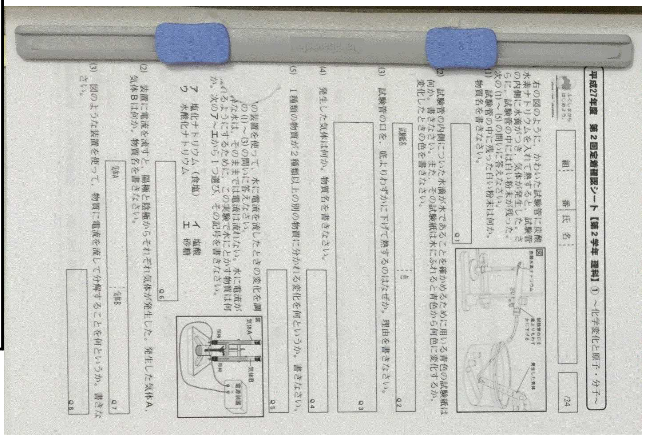
教師は、授業と家庭学習のつながりが実感できる授業づくりに取り組んでいる。また、生徒自らが、学習した内容の定着を確認するために、全国学力・学習状況調査問題や過去の定着確認シート問題を教室に準備し、生徒がすぐに活用できるよう工夫している。

今後は、「家庭学習スタンダード」を活用し、自校の実態に応じた「家庭学習の手引き」を作成するため、現職教育部会や各教科部会において話し合いを進める計画である。

＜「家庭学習９０プラン」の取り組み方＞




＜教室に準備された定着確認シート＞

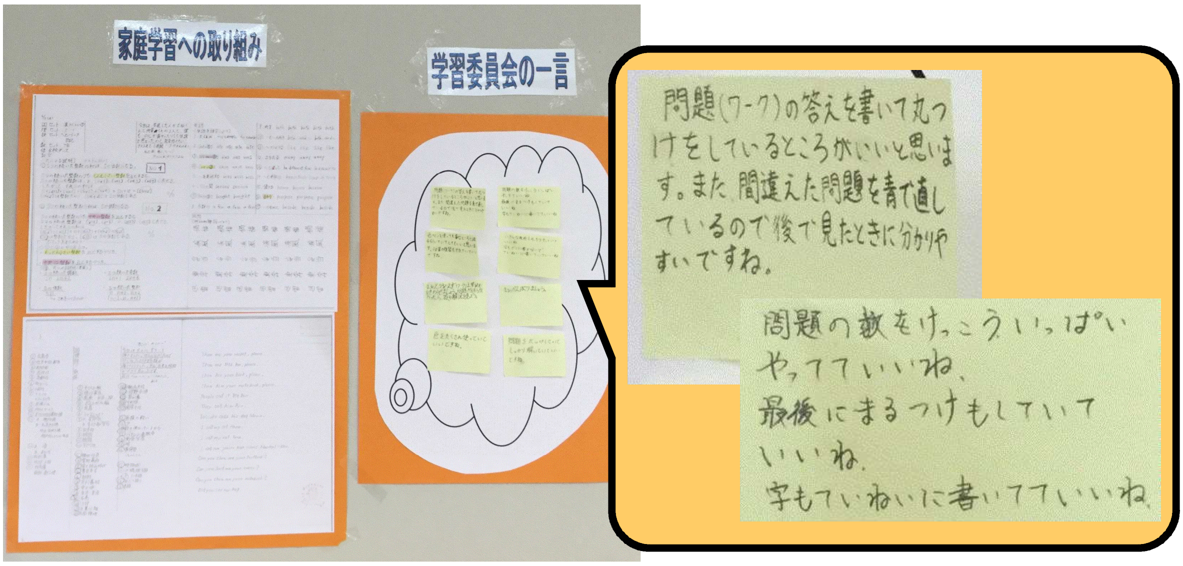


## ２　取組②　協力・連携体制を築いています

### ○　生徒会による様々な取組

①　学習委員会による見本となる家庭学習の紹介

「家庭学習９０プラン」の活用に向けて、学習委員会においては、見本となる家庭学習ノートを教室や廊下に掲示し、どのような点が工夫されているのか、どこを改善するともっと充実した家庭学習になるのかなど、学習委員から一言コメントをつけている。




②　生徒会本部による時間の有効活用に向けた取組

生徒会本部においては、「スマートフォン、ＰＣ等の使用についてのわたしたちのつの約束」を定め、メディア等の接し方や時間の有効活用などを呼びかけている。また、「親と子の７つの約束」により、家庭の協力が得られるよう、生徒自身が保護者へ向けて情報発信の周知も行っている。

**スマートフォン・ＰＣ・携帯等の使用について**
**わたしたちの７つの約束**

南会津中学校生徒会

スマートフォン・ＰＣ・携帯などはとても便利で楽しいものです。しかし、間違った使い方をすると怖い一面があることもわかります。私たちは安全に使用するため、次のことを約束します。

1　使用できる時間は朝６時から夜９時までにします。それ以降は必ず親に預けます。
　※どうしても連絡したい時は、保護者にお願いします。

2　ルールやマナーをきちんと守って使用します。

3　フィルタリングを付けてもらいます。また、勝手に外しません。

4　学校には、絶対に持って行きません。

5　人をだましたり、バカにしたりするために使用しません。また、誰かを傷つける会話やメール、チャット犯罪になるので絶対に加わりません。

6　自分や友達の写真・個人の情報等をネット上に載せることは犯罪になることを理解し、絶対にしません。

7　約束を守れなかった時は、親に預けます。そして、これからどうするのかを話し合います。

**スマートフォン・携帯等の使用について**
**親と子の７つの約束**

南会津中学校

スマートフォン・携帯はとても便利な機器です。私たちは保護者として、あなたたちに安全に使用させる義務と責任があります。また、購入するにも使用するにも料金がかかります。それを払っているのは私たち保護者です。だから以下の約束をしっかり守って使用しましょう。

1　使用できる時間は朝６時から夜９時までです。それ以降は必ず親に預けてください。

2　ルールやマナーを守って使用しましょう。

3　フィルタリングを勝手に外してはいけません。

4　学校に持っていってはいけません。

5　人をだましたりバカにしたりするために使用してはいけません。また、誰かを傷つける会話やメール、チャットには加わるのもいけません。（犯罪になります）

6　カメラやビデオで何でもかんでも撮影しないようにしよう。特に自分や友達の写真・個人の情報等をネット上に載せることは絶対にやってはいけません。（犯罪になります）

7　約束を守れない場合は、預かります。そこでどうするか話し合います。

# 家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

| 取組の特徴 | **「家庭学習強化週間」と「家庭学習と授業の接続」** |
|---|---|

南相馬市立原町第二小学校

【取組の概要】

家庭学習の進め方について、学校と家庭で目的、内容、方法の共有化を図っている。また、「家庭学習強化週間の設定」、「個に応じた家庭学習の工夫」、「家庭学習を授業に生かす取組」がなされている。

## 1　取組①　協力・連携体制を築いています

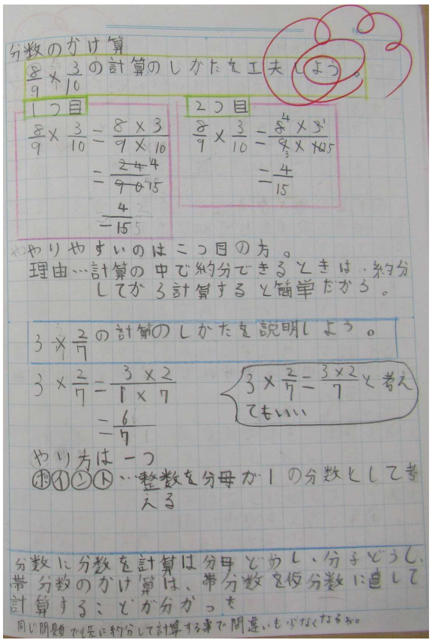
### （１）保護者への啓発

保護者会、学校評議員会等で「家庭学習スタンダード」を周知している。

また、学校独自で作成した「家庭学習の進め方（ひばりっこのチャレンジ）」を各家庭に配付し、学校と家庭が家庭学習のポイントを共有し、児童の自己マネジメント力の育成に取り組んでいる。

なお、家庭学習の充実に向けて、保護者と意見を交換する機会も検討している。

【家庭学習ノート】




【「ひばりっこのチャレンジ」の一部抜粋】

**④　途中の式や図、表は省略せずに書く。**
学習する上で、答えが当たることだけでなく、「どのように考えたか。」という点も重要になってきます。国語科では、メモや下書き、算数科では、途中の式や計算、筆算などです。これらは、思考の過程を表すものなので、ぜひ書きましょう。間違ったときに、その原因を探るためにも大事な材料になります。先生が、どのように考えて答えを出したかを知る参考にもなりますので、省略せず書き残しておくようにしましょう。

### （２）「家庭学習強化週間」の設定

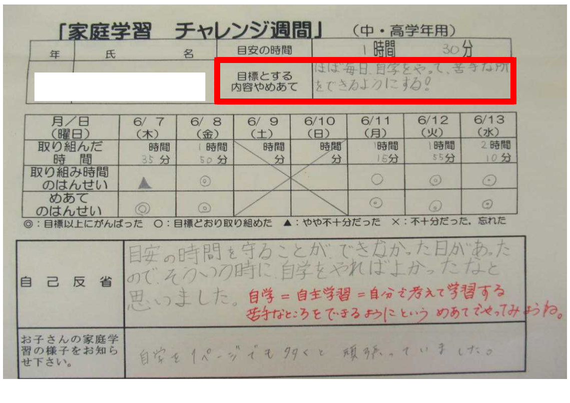
月に一度「家庭学習強化週間」を実施し、児童に「目標」や「内容」を設定させ、取組への自己評価をさせている。

**家庭学習の強化（学力向上）について**

新年度が始まり、子どもたちも新しい環境での生活にも慣れてきたことと思います。保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、学校での学習効果を一層高め、さらに、家庭での学習習慣形成を図るため、今年度第１回目の、「家庭学習チャレンジ週間」を実施します。進級し、子どもたちも新しい学習に意欲がわいてきていることでしょう。お子さんが、自分で立てた学習計画に沿って、計画的に学習に取り組むことができるよう、ご家庭でも声をかけ励まして下さい。よろしくお願い致します。

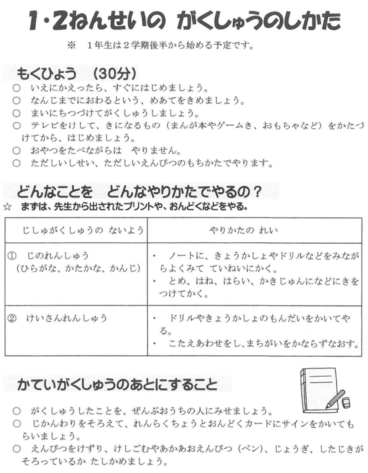
○　方　法
(1)　自分に合った学習時間や目標・内容を決める。
◇　目標や内容の例
○　今日の授業で学習したところのノートを振り返り、確認する。
○　次の日に学習するところの教科書を読んだり、自分なりにまとめたりする。
○　音読をする。
○　漢字の書き取りや、計算練習をする。
○　間違った問題をもう一度解く。
※　テレビなどを見ないで集中して行う。
※　始まりと終わりの時間を確認する。
◇　目安の時間　低学年･･･30分以上　中学年･･･60分以上　高学年･･･1 時間30分以上
(2)　学校で家庭学習の内容や目標を記入する。
(3)　自分に合った家庭学習を実施し、反省を書き、家族からのコメントをもらう。

○　その他
全校生（１年生は２学期から）で取り組み、実施期間以外も、継続してできるように努力する。



（３）「学習の仕方」の配付

各学年に応じた「学習の仕方」を配付し、保護者にも家庭学習の環境づくりに向けた協力を仰ぐことで、学校、子ども、家庭が一体となって家庭学習の充実に向けた取組をしている。



**1･2ねんせいの　がくしゅうのしかた**

※　１年生は２学期後半から始める予定です。

**もくひょう　（30分）**

○　いえにかえったら、すぐにはじめましょう。
○　なんじまでにおわるという、めあてをきめましょう。
○　まいにちつづけてがくしゅうしましょう。
○　テレビをけして、きになるもの（まんが本やゲームき、おもちゃなど）をかたづけてから、はじめましょう。
○　おやつをたべながらは　やりません。
○　ただしいしせい、ただしいえんぴつのもちかたでやります。

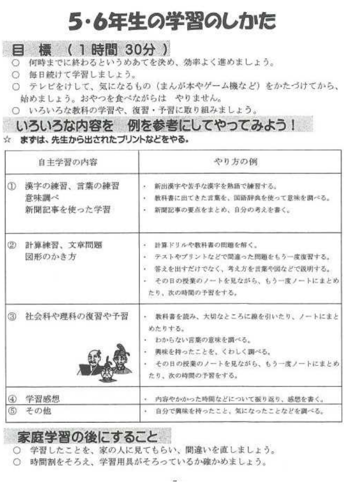
**どんなことを　どんなやりかたでやるの？**

☆　まずは、先生から出されたプリントや、おんどくなどをやる。

| じしゅがくしゅうの ないよう | やりかたの れい |
|---|---|
| ①　じのれんしゅう（ひらがな、かたかな、かんじ） | ・　ノートに、きょうかしょやドリルなどをみながらよくみて ていねいにかく。<br>・　とめ、はね、はらい、かきじゅんになどにきをつけてかく。 |
| ②　けいさんれんしゅう | ・　ドリルやきょうかしょのもんだいをかいてやる。<br>・　こたえあわせをし、まちがいをかならずなおす。 |

**かていがくしゅうのあとにすること**

○　がくしゅうしたことを、ぜんぶおうちの人にみせましょう。
○　じかんわりをそろえて、れんらくちょうとおんどくカードにサインをかいてもらいましょう。
○　えんぴつをけずり、けしごむやあかあおえんぴつ（ペン）、じょうぎ、したじきがそろっているか たしかめましょう。



**5･6年生の学習のしかた**

**目　標　（１時間 30分）**

○　何時までに終わるというめあてを決め、効率よく進めましょう。
○　毎日続けて学習しましょう。
○　テレビをけして、気になるもの（まんが本やゲーム機など）をかたづけてから、始めましょう。おやつを食べながらは　やりません。
○　いろいろな教科の学習や、復習・予習に取り組みましょう。

**いろいろな内容を　例を参考にしてやってみよう！**

☆　まずは、先生から出されたプリントなどをやる。

| 自主学習の内容 | やり方の例 |
|---|---|
| ①　漢字の練習、言葉の練習<br>意味調べ<br>新聞記事を使った学習 | ・　新出漢字や苦手な漢字を熟語で練習する。<br>・　教科書に出てきた言葉を、国語辞典を使って意味を調べる。<br>・　新聞記事の要点をまとめ、自分の考えを書く。 |
| ②　計算練習、文章問題<br>図形のかき方 | ・　計算ドリルや教科書の問題を解く。<br>・　テストやプリントなどで間違った問題をもう一度復習する。<br>・　答えを出すだけでなく、考え方を言葉や図などで説明する。<br>・　その日の授業のノートを見ながら、もう一度ノートにまとめたり、次の時間の予習をする。 |
| ③　社会科や理科の復習や予習 | ・　教科書を読み、大切なところに線を引いたり、ノートにまとめたりする。<br>・　わからない言葉の意味を調べる。<br>・　興味を持ったことを、くわしく調べる。<br>・　その日の授業のノートを見ながら、もう一度ノートにまとめたり、次の時間の予習をする。 |
| ④　学習感想 | ・　内容やかかった時間などについて振り返り、感想を書く。 |
| ⑤　その他 | ・　自分で興味を持ったこと、気になったことなどを調べる。 |

**家庭学習の後にすること**

○　学習したことを、家の人に見てもらい、間違いを直しましょう。
○　時間割をそろえ、学習用具がそろっているか確かめましょう。

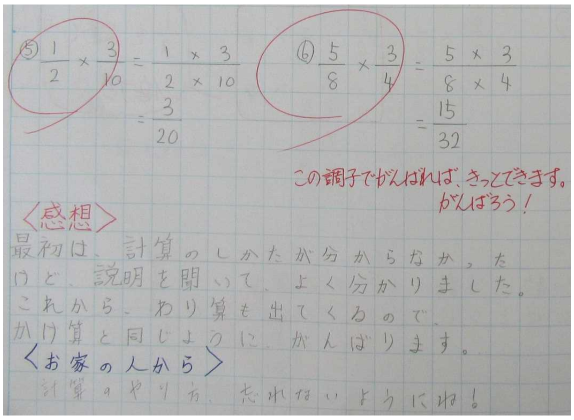
## ２　取組②　家庭学習を授業に生かす指導をしています

### （１）日課表

今年度より、個に応じた指導の充実を図るため、日課表の中に「ステップアップタイム」を設けている。水曜日と木曜日の朝の時間は、授業内容との関連のある家庭学習に取り組んだ例を紹介したり、課題となっている学習内容の反復練習の場としたりするなど、年間をとおして計画的に活用している。また、水曜日の５校時、６校時の後にも位置付け、授業に関わる補充的・発展的な内容に取り組むだけでなく、家庭学習の内容・方法についての指導も行っている。

### （２）個に応じた家庭学習指導と授業との接続

【家庭学習ノート】




高学年では、これまでの自主学習への取組の実態をもとに、教師が児童へ自主学習の内容について指導を行っている。算数科では、授業でできなかった内容にもう一度取り組んでみるような支援や、「授業中では思いつかなかった考えがあれば、それを書いてきてみたら？」といった声かけなどを行い、児童による新たな発見が生まれるような自主学習となるよう支援をしている。一方で、定着に課題が見られる場合は、復習を中心とした家庭学習となるよう支援をしている。

## ３　取組③　内容・方法を指導しています

保護者が学校を訪れる機会を利用して自主学習ノートの展覧会を開催している。各学年の児童のよい取組を紹介することで、児童相互だけでなく保護者にもよりよい家庭学習のイメージをもつ機会となっている。なお、児童の素晴らしいノートを表彰し、自主学習への意欲付けも行っている。

# 家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

| 取組の特徴 | **「学習の手引き」と「ＩＣＴ」を活用した家庭学習の質の向上** |
|---|---|

新地町立尚英中学校

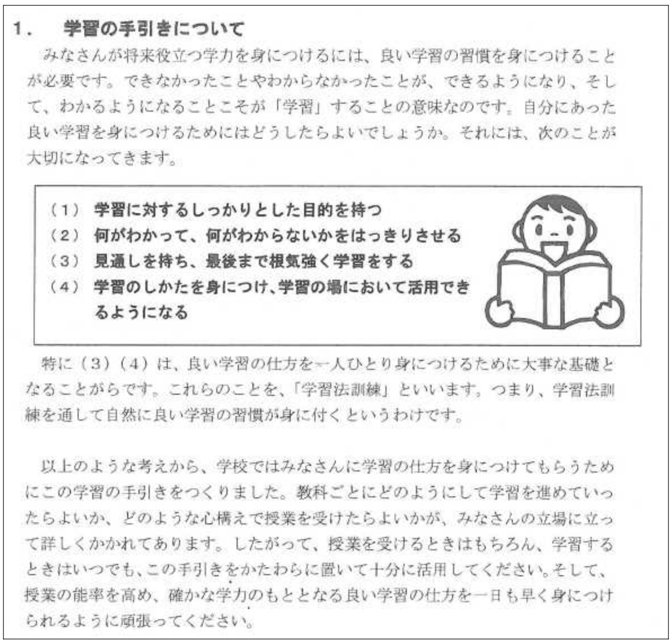
【取組の概要】

「家庭学習スタンダード」を基に、各教科で作成していた学習の仕方を見直し、新たに「学習の手引き」を作成して、家庭学習の質の向上を図るとともに、ＩＣＴを活用し家庭学習と授業をつなぐ実践を行っている。

## 1　取組①　共通理解を図り指導しています

**○　「学習の手引き」を活用した家庭学習の質の向上**

昨年度までは、学習の仕方について各教科に任せていたところがあったが、「家庭学習スタンダード」を基に、それらを見直し「学習の手引き」を作成した。年度当初に全校生に配付し、学校全体で共通理解を図り、指導を行っている。目的をしっかりもって学習に取り組んだり、見通しをもち、最後まで根気強く学習したり、何がわかって、何がわからないかをはっきりさせたりするなど、生徒自身がＲ－ＰＤＣＡサイクルを実施できるように、継続的に指導を行っている。今後、より活用しやすい「学習の手引き」になるように、今年度１年間の取組を振り返り、生徒の声も生かしながら、改善をしていく予定である。

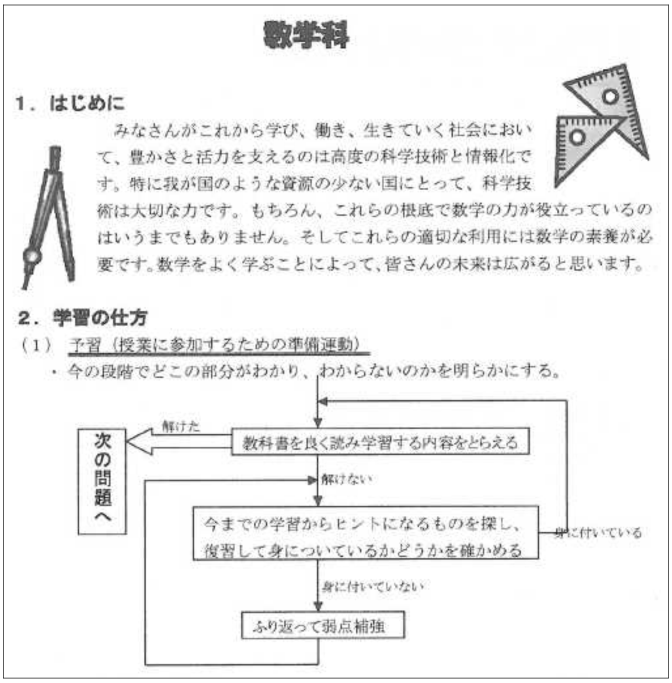

**１．　学習の手引きについて**

みなさんが将来役立つ学力を身につけるには、良い学習の習慣を身につけることが必要です。できなかったことやわからなかったことが、できるようになり、そして、わかるようになることこそが「学習」することの意味なのです。自分にあった良い学習を身につけるためにはどうしたらよいでしょうか。それには、次のことが大切になってきます。

（１）　学習に対するしっかりとした目的を持つ
（２）　何がわかって、何がわからないかをはっきりさせる
（３）　見通しを持ち、最後まで根気強く学習をする
（４）　学習のしかたを身につけ、学習の場において活用できるようになる

特に（３）（４）は、良い学習の仕方を一人ひとり身につけるために大事な基礎となることがらです。これらのことを、「学習法訓練」といいます。つまり、学習法訓練を通して自然に良い学習の習慣が身に付くというわけです。

以上のような考えから、学校ではみなさんに学習の仕方を身につけてもらうためにこの学習の手引きをつくりました。教科ごとにどのようにして学習を進めていったらよいか、どのような心構えで授業を受けたらよいかが、みなさんの立場に立って詳しくかかれてあります。したがって、授業を受けるときはもちろん、学習するときはいつでも、この手引きをかたわらに置いて十分に活用してください。そして、授業の能率を高め、確かな学力のもととなる良い学習の仕方を一日も早く身につけられるように頑張ってください。


**数学科**

**１．はじめに**

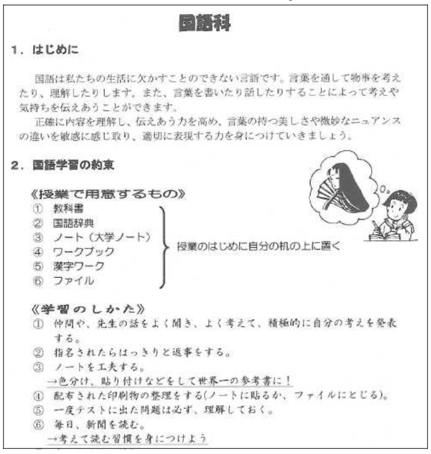
みなさんがこれから学び、働き、生きていく社会において、豊かさと活力を支えるのは高度の科学技術と情報化です。特に我が国のような資源の少ない国にとって、科学技術は大切な力です。もちろん、これらの根底で数学の力が役立っているのはいうまでもありません。そしてこれらの適切な利用には数学の素養が必要です。数学をよく学ぶことによって、皆さんの未来は広がると思います。

**２．学習の仕方**

（１）　予習（授業に参加するための準備運動）

・今の段階でどこの部分がわかり、わからないのかを明らかにする。




**国語科**

**１．はじめに**

国語は私たちの生活に欠かすことのできない言語です。言葉を通して物事を考えたり、理解したりします。また、言葉を書いたり話したりすることによって考えや気持ちを伝えあうことができます。

正確に内容を理解し、伝えあう力を高め、言葉の持つ美しさや微妙なニュアンスの違いを敏感に感じ取り、適切に表現する力を身につけていきましょう。

**２．国語学習の約束**

《授業で用意するもの》

①　教科書
②　国語辞典
③　ノート（大学ノート）
④　ワークブック
⑤　漢字ワーク
⑥　ファイル

→ 授業のはじめに自分の机の上に置く

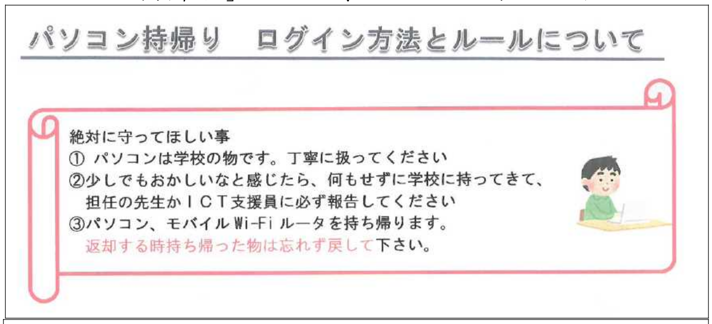
《学習のしかた》

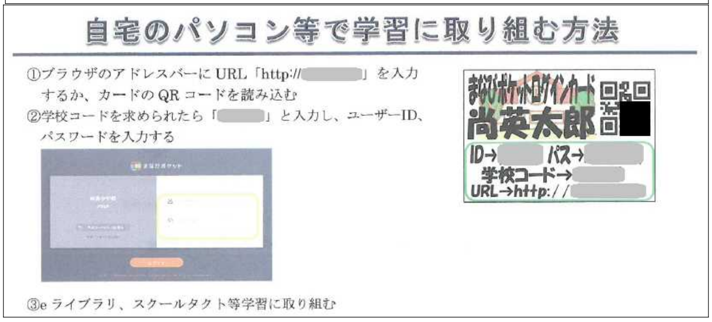
①　仲間や、先生の話をよく聞き、よく考えて、積極的に自分の考えを発表する。
②　指名されたらはっきりと返事をする。
③　ノートを工夫する。
→色分け、貼り付けなどをして世界一の参考書に！
④　配布された印刷物の整理をする(ノートに貼るか、ファイルにとじる)。
⑤　一度テストに出た問題は必ず、理解しておく。
⑥　毎日、新聞を読む。
→考えて読む習慣を身につけよう

## ２　取組②　授業と家庭学習をつなげています

### （１）ＩＣＴを活用した家庭学習の実践

町内の学校全体でＩＣＴを活用した学びを展開している。授業での活用だけでなく、家庭学習においてもＩＣＴを活用した実践を行っている。家庭にパソコンやインターネット環境のない生徒には、「パソコン持帰り」として、パソコンやモバイル Wi-Fi ルータの貸し出しも行っており、誰でも気軽にＩＣＴを活用した家庭学習ができる環境が整っている。様々なソフトを使用して、生徒が自主的に家庭学習に取り組んだり、生徒が授業の動画や板書の写真等を持ち帰り、家庭で復習する試みも始めたりしている。それにより、生徒の家庭での学習状況を学校のパソコンを利用して担任や教科担当が把握でき、個に応じた助言や個別支援を行うことができている。



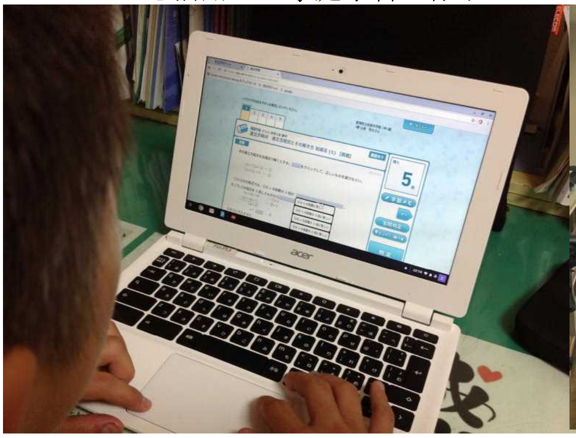




### （２）家庭学習と授業をつなぐ実践

教員は、それぞれの生徒の家庭での学習状況（いつ、何時間学習したか等）や定着状況等について学校のパソコンで確認することができる。生徒の実態を把握し、理解が不十分である場合には、補充学習を行うなど、家庭学習と授業をつなぐ取組を行っている。

＜家庭での学習状況と定着状況＞

| 学習日 | 学年 | 教科 | 単元名 | 教材名 | レベル | 初回 | 最終 | リトライ | 時間(分) | 状態 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2018/11/13 | 中学１年 | 英語 | Unit 7 | 「どちら[どれ]を～しますか。」 | 挑戦 | 100 | 100 | 0 | 5 | |
| 2018/11/13 | 中学１年 | 英語 | Unit 7 | 「～はだれですか。」 | 挑戦 | 100 | 100 | 0 | 2 | |
| 2018/11/13 | 中学１年 | 数学 | 方程式　1次方程式の利用 | 方程式の利用 (基本) | 標準 | 100 | 100 | 0 | 3 | |
| 2018/11/06 | 中学１年 | 理科 | 植物の世界　植物の分類 | シダ植物 | 標準 | 50 | 100 | 1 | 6 | |
| 2018/11/06 | 中学１年 | 理科 | 植物の世界　植物の分類 | 種子植物の分類 (2) | 標準 | 100 | 100 | 0 | 2 | |
| 2018/11/06 | 中学１年 | 理科 | 植物の世界　植物の分類 | 種子植物の分類 (1) | 基本 | 100 | 100 | 0 | 1 | |
| 2018/11/06 | 中学１年 | 理科 | 植物の世界　花のつくりとはたらき | 花のつくりとはたらき (2) | 標準 | 67 | 100 | 1 | 2 | |
| 2018/11/06 | 中学１年 | 理科 | 植物の世界　花のつくりとはたらき | 花のつくりとはたらき (1) | 基本 | 80 | 100 | 1 | 2 | |
| 2018/10/31 | 中学１年 | 数学 | 文字と式　文字式の計算 | 1次式と数の乗法 (1) | 挑戦 | 100 | 100 | 0 | 2 | |
| 2018/10/31 | 中学１年 | 数学 | 文字と式　文字式の計算 | 1次式の加法 | 挑戦 | 80 | 100 | 1 | 3 | |
| 2018/10/31 | 中学１年 | 数学 | 文字と式　文字式の計算 | 1次式 | 挑戦 | 40 | 100 | 1 | 2 | もう一度 |
| 2018/10/31 | 中学１年 | 数学 | 文字と式　文字式の計算 | 項と係数 | 挑戦 | 100 | 100 | 0 | 4 | |
| 2018/09/18 | 中学１年 | 数学 | 文字と式　文字を使った式 | 代入と式の値 (1) | 挑戦 | 100 | 100 | 0 | 2 | |


＜ＩＣＴを活用した家庭学習の様子＞

＜ｅライブラリを活用した補充学習の様子＞

# 家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

| 取組の特徴 | **「家庭学習の手引き」の見直しと「学習・生活習慣セルフチェック」の活用** |
|---|---|

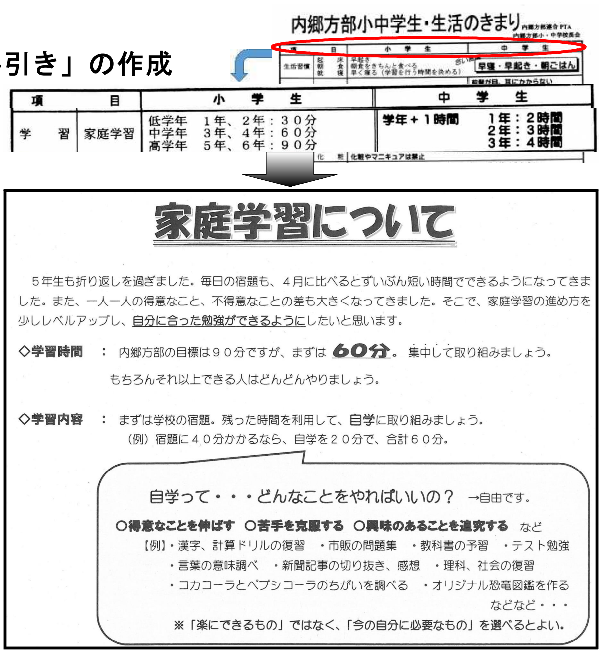
いわき市立高坂小学校

【取組の概要】

子どもたちの家庭学習への取組から、学校の「学習の手引き」を見直し、生活や学習の習慣を自ら振り返りながら、より良い生活に改善していこうとする自己マネジメント力の育成に努めている。

**1　取組①　共通理解を図り指導します**

**○　児童の実態に応じた「家庭学習の手引き」の作成**


内郷方部小中学生・生活のきまり　内郷方部連合PTA　内郷方部小・中学校長会

| 項 | 目 | 小学生 | 中学生 |
|---|---|---|---|
| 学習 | 家庭学習 | 低学年　1年、2年：30分<br>中学年　3年、4年：60分<br>高学年　5年、6年：90分 | 学年＋1時間　1年：2時間<br>2年：3時間<br>3年：4時間 |

**家庭学習について**

５年生も折り返しを過ぎました。毎日の宿題も、４月に比べるとずいぶん短い時間でできるようになってきました。また、一人一人の得意なこと、不得意なことの差も大きくなってきました。そこで、家庭学習の進め方を少しレベルアップし、自分に合った勉強ができるようにしたいと思います。

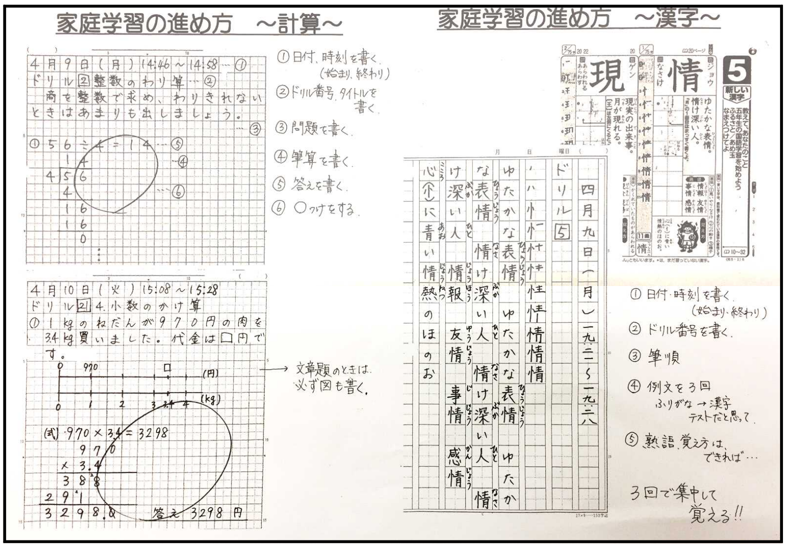
◇**学習時間**　：　内郷方部の目標は９０分ですが、まずは **60分**。集中して取り組みましょう。
もちろんそれ以上できる人はどんどんやりましょう。

◇**学習内容**　：　まずは学校の宿題。残った時間を利用して、自学に取り組みましょう。
（例）宿題に４０分かかるなら、自学を２０分で、合計６０分。

自学って・・・どんなことをやればいいの？　→自由です。
**○得意なことを伸ばす　○苦手を克服する　○興味のあることを追究する**　など
【例】・漢字、計算ドリルの復習　・市販の問題集　・教科書の予習　・テスト勉強
・言葉の意味調べ　・新聞記事の切り抜き、感想　・理科、社会の復習
・コカコーラとペプシコーラのちがいを調べる　・オリジナル恐竜図鑑を作る
などなど・・・
※「楽にできるもの」ではなく、「今の自分に必要なもの」を選べるとよい。

学校全体で確認した生活のきまりや「学習の手引き」の改善を図っている。特に、高学年ブロックでは、中学校への接続を視野に入れ、「漢字・計算ドリル学習の進め方」を配布し、基本的な学習の仕方の徹底を図ってきた。また、家庭に対しては、お便りだけではなく、授業参観等において、学年の取組について担当者が説明し、協力を依頼している。さらに、「学習の進め方」による学習方法の徹底だけでなく、学習時間や学習内容について予定を立て、子ども自らが生活を改善するできるように「学習・生活習慣セルフチェック表」を作成している。

「学習の進め方」に加えて「生活習慣」をより意識化させることによって、目標としていた「月曜日から金曜日までの５日間で３００分以上」の学習時間をほとんどの児童が確保できるようになり、目標をさらに高くもって取り組む児童が増加した。



## ２　取組②　内容・方法を指導します

### ○　予定確認表と学習・生活習慣セルフチェックの活用

家庭学習の習慣化のためには、子ども自らが翌週の生活スケジュールを立てることができるようにすることが大切である。習い事など放課後の予定を記入させることで、「学習・生活習慣セルフチェック表」を作成させている。その際、就寝時刻・起床時刻を記録し、生活習慣についても振り返ることができるようにしている。また、生活習慣については、保護者が積極的に子どもと関わっている。午後９時から１０時までの間にほとんどの子どもたちが就寝し、睡眠時間が十分に確保され、生活のリズムが身に付いてきている。

これらの取組を継続してきた結果、合計学習時間が増加しただけでなく、帰宅後の時間や週末の時間の使い方について子ども自身が考えるようになり、自己マネジメント力の育成につながっている。

学習・生活習慣セルフチェック表

5年　組　番　名前(　　　)

今週のめあて（自分の課題）：先週休んだ分のおくれを取りもどす。

5年生として１日60分以上（目標は90分）　１週間で300分以上（5日間）

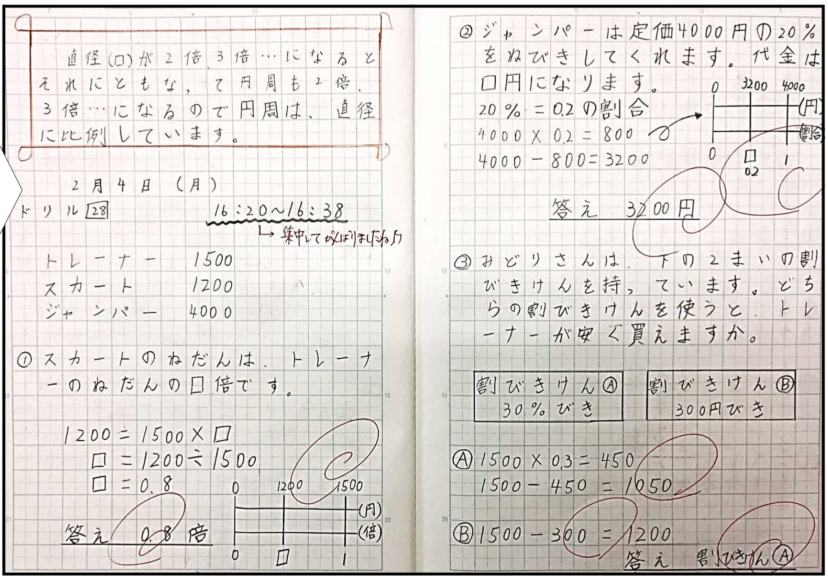
| | 1/21日(月) | 22日(火) | 23日(水) | 24日(木) | 25日(金) | 26日(土) | 27日(日) | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 放課後の予定（習い事など） | | 合唱 | → | | 習字 | | | |
| 学習の計画（宿題以外で） | 計ド4 | 5 | 6 | 7 | 漢ド3 | 4 | | |
| 就寝時刻 | 21：00 | 21：30 | 21：00 | 21：30 | 22：00 | 21：00 | 21：30 | |
| 起床時刻 | 6：00 | 6：00 | 6：00 | 6：00 | 6：00 | 6：00 | 6：00 | |
| 睡眠時間 | 9時間00分 | 8時間30分 | 9時間00分 | 8時間30分 | 8時間00分 | 9時間00分 | 8時間30分 | |
| 宿題 国 | 8 40分 | 9 46分 | 漢ド 30分 | 11 30分 | 分 | 分 | 分 | 合計学習時間 |
| 宿題 算 | 8 20分 | 9 35分 | 計ド 25分 | 分 | 分 | 分 | 分 | |
| その他 | 計ド4 30分 | 計ド5 25分 | 計ド4 30分 | 8 30分 | 3 5 35分 | 12 25分 | 6 30分 | |
| 時間 | 合計 90分 | 合計 100分 | 合計 85分 | 合計 60分 | 合計 35分 | 合計 25分 | 合計 30分 | 425分 |
| 読書の記録 題名／時間 | 分 | 分 | 分 | 分 | 分 | 分 | 分 | 合計読書時間 0分 |

今週の反省　A・Ⓑ・C　１週間を振り返って：計ドなどがあまり進まず、漢ドが一つも自学でできなかったから来週も同じめあてでがんばりたい。　担任印

【学習・生活習慣セルフチェック表】

○保護者から
「１週間の放課後の予定を考えて、学習を進めていくということは、自分の生活を自分で考えていくことにつながって良い。」
「親も、宿題をどのくらいの時間で終わらせたのかが分かって良い。」

【児童の自学ノート例】




○保護者から
「最初のうちは、ドリル学習を丁寧にやると1時間では収まらなかった。月曜から金曜まで300分（1日1時間）では少ないかとも思ったが、子どもの家庭学習の姿を見ると、時計を目の前において、集中して学習する姿に感心した。」

# 家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

| 取組の特徴 | **キャリア教育を基盤とした学校経営に基づく家庭学習の取組** |
|---|---|

いわき市立中央台北中学校

【取組の概要】

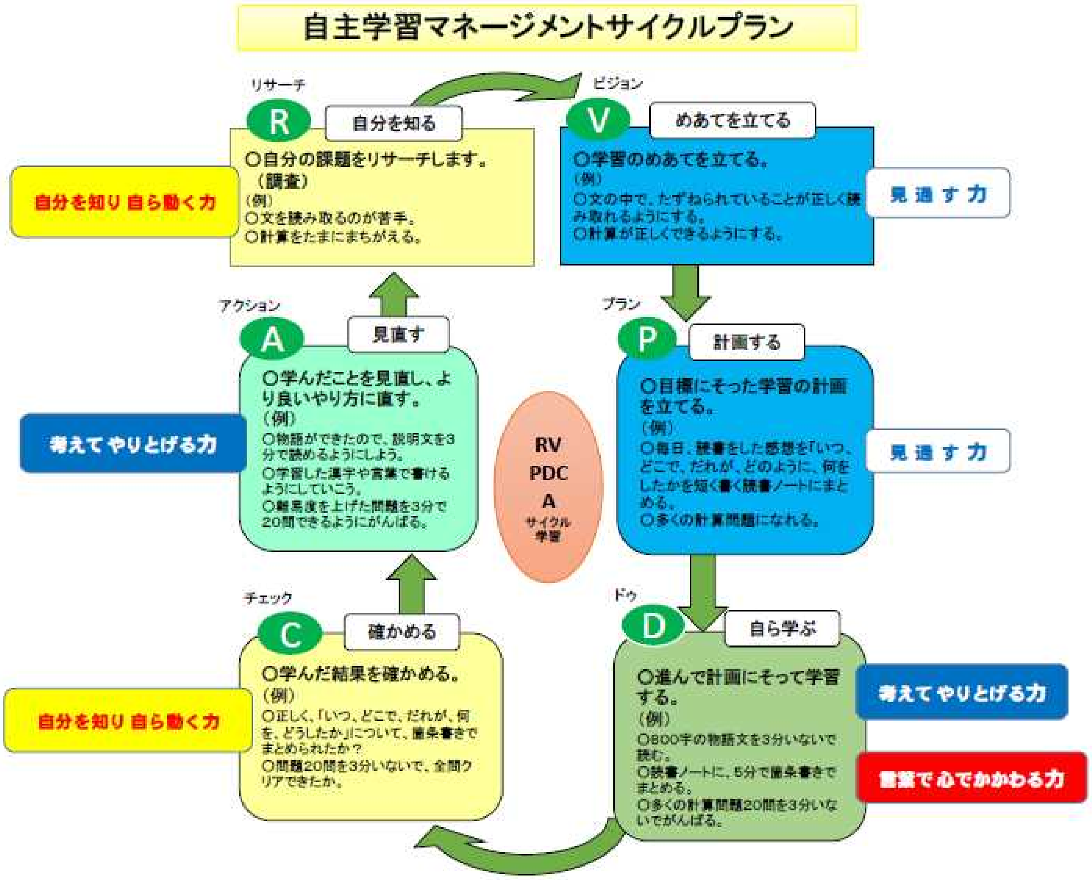
キャリア教育を基盤とした学校経営を行っている。その一環として、各教科の授業と家庭学習をつないだり、家庭生活と学校生活をつないだりするなどしてキャリア教育を展開し、教育活動全体を通して家庭学習の充実に向けた取組を行っている。

## 1　取組①　授業と家庭学習をつなげています

### ○　ＲＶＰＤＣＡサイクルによるマネジメント学習法

キャリア教育における４つの基礎的・汎用的能力である「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」をそれぞれ、「言葉で心でかかわる力」「自分を知り自ら動く力」「考えてやりとげる力」「見通す力」として自校化し、教育活動全体を通して基礎的・汎用的能力の育成に取り組んでいる。

「家庭学習スタンダード」におけるＲ－ＰＤＣＡサイクルのＰｌａｎに含まれる「目標を立てる」ことをさらに強調するためにＶｉｓｉｏｎ（目標設定）を加えたＲＶＰＤＣＡサイクルによるマネジメント学習法として、「自主学習マネージメントサイクルプラン」を示している。学びの主体は生徒であることから、学習の方法をどのように工夫・改善すれば「目指す学力」に到達することができるかについて、「自主学習マネージメトサイクルプラン」を基に、具体的に生徒に考えさせている。



＜「ＲＶＰＤＣＡマネジメントサイクルシート」の一例＞

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 12月20日 | 水 | | 数学 | 4 | 国語 | -6 84 点 | 勉強不足だったので自分ができないところを復習する。 |
| 12月21日 | 木 | | 英語 | 4 | 数学 | -15 [illegible]5 点 | 計算は完ぺきではないない。分数をふくむ計算を復習。 |
| 12月22日 | 金 | 終業式 | 自学 | | 英語 | [illegible]0 点 | もっと点数をとりたい。ケアレスミスをしない |

| P(どうやるか) | D(どうやったか) | C(テスト結果からの気づき) | A(次どうやるか) |
|---|---|---|---|
| ① 数学の計算を完ぺきに！ | ラーニング・ナビを使って学習した。 | 国語がよく分からなかった。ケアレスミスをしていた。とれるところを確実に。 | 95点以上とれるように、国語のやり方、数学のとき方を覚える。 |
| ② 国語、数学を重点的にやり方を覚える。 | ラーニング・ナビを使って学習した | 国、数に力をいれたい。 | ラーニング・ナビ以外に計算問題を行う。 |
| ③ 記述式ができるように。理科、社会 | まず、ラーニング・ナビで読み込んだ。とき方を覚えた。 | 数学の分数の計算が苦手。国語もよく分からない。 | ラーニング・ナビ・ナビノート以外の同じような問題をやってみる。間違えたところをもう一回と直し。 |
| 30回PDCAのサイクルを回す。社会が終わって合計点を出したところで、また次のサイクルに向けて考える。振り返りの繰り返し。 | | | |

「自主学習マネージメントサイクルプラン」を具現化するために「学力向上のためのＲＶＰＤＣＡマネジメントサイクルシート」を作成し、活用している。シートは、いくつかのバリエーションがあり、さらに生徒の実態に応じて教師がカスタマイズしている。生徒はシートを「家庭学習スタンダード」に貼り付け、活用している。

生徒が「目指す学力」に到達するための改善策を考える過程で、教師は、課題対応能力の向上を意識しながら支援することを大切にしている。計画立案は、教師からのアドバイスを受けることや友人と情報交換することで、人間関係形成・社会形成能力を高める活動となっている。また、シートに記入することで、自己理解・自己管理能力を高め、継続性や習慣化につながるということを粘り強く指導している。記入したシートや使用したノートを活用し、自らを振り返らせることで課題対応能力を高め、キャリアプランニング能力の向上につなげるなど、学年主任を中心に学年全体で指導している。

## ２　取組②　協力・連携体制を築いています

### ○　学校と家庭との連携

「学力向上マネジメントサイクルプラン」（学力向上グランドデザイン）の中に、学校と家庭の役割について位置付けている。学校においては、学習習慣を身に付けたり、学習意欲を高めたりするための働きかけについて、教師間で共通理解を図り、学校全体で実践している。家庭においては、保護者が取り組めることについて、年間を通して保護者会や学年便り等で周知し、家庭教育力の向上に努めている。また、校長座談会を開催するなど、キャリア教育について保護者と共通理解が図られてきており、家庭教育やＰＴＡ活動にも基礎的・汎用的能力を意識した取組がたくさんみられるようになっている。

＜「学力向上マネジメントサイクルプラン」の一部＞

**家庭教育の中で保護者が取り組めること**

1　規律正しい生活をさせる。（自己統制力＝最後までやり抜く）
　○起床・登校・食事・入浴・就寝を予定通りきちんとさせる。
2　子どもの心と健康状態を把握して学習時間を確保する。
　○悩み・疲れ・体調不良・病気などを把握する。
3　子どもの将来の夢や目標について話し合う。
4　宿題やテストについて確認する時間を確保する。
5　ゲームの時間を「読書の時間」に少しでも替える工夫をする。
6　勉強をする場所を決める。（できるだけ目の届く場所で！）